

F
650

Regulation of Shozu-gun Social Education Study Organization
Kagawa Prefecture

Received August 1950

- Art 1. The name of this organization shall be the Shozu-gun Social Education Study Conference and the office of this organization shall be in the Shozu Local Office.
- Art 2. The objects of this organization shall be to keep close contact with the secretariat of the Kagawa Prefectural Board of Education, to get always close liaison and coalition with people concerning social education in the gun and to accomplish the mission of social education, based on the Social Education Law.
- Art 3. This association shall carry out the following activities to accomplish the abovementioned objects.
1. Study and investigation regarding reformation and improvement of social education
 2. Holding training courses, study meetings, exhibitions, etc.
 3. Other necessary matters.
- Art 4. This organization shall be organized by those who approve the objects of this organization and are recommended by each town and village assembly.
- Art 5. This organization shall have the following officers:
1. 1 - president
 2. 2 - vice-presidents
 3. 16 - committee members
 4. Standing committee members - heads of departments will hold additional posts
 5. 1 - secretary
- Art 6. The president and vice-presidents shall be selected at the general meeting and each committee member shall be selected from each town and village. The secretary shall be appointed by the president.
- Art 7. President shall represent this organization and preside over the business.

Vice-president shall assist, and act as, and instead of the president in his absence.

Committee members shall perform the business of this organization and secretary shall always take care of the business.

- Art 8. Term of officer shall be one year. However, they can be reelected.
- Art 9. This organization shall be able to have an advisor. An advisor shall be elected from among those who are men of merit or who have good scholarship and experience, by the request of president based on the opinion of the officers' meeting.
- Art 10. This organization shall hold a general meeting once a year and shall be able to hold temporary meetings, whenever necessary. Report of the previous year's business of the organization, approval of the budget, closing account and other necessary matters shall be carried out at the general meeting. Officers' meetings shall be held whenever necessary and the following articles shall be discussed.
1. Activity plan of this association
 2. Other necessary matters.
- Art 11. This organization shall establish the following department for accomplishing of the organization and members shall have to belong to one of them, and each department shall choose a head by mutual election.
1. Adult education
 2. CPH
 3. Visual-audio education
 4. Women
 5. Juvenile and youth
- Art 12. The expense of this organization shall be covered by dues, income from activities and contributions.
- Art 13. The fiscal year of this organization shall begin on 1 April and end at 31 March of the next year.
- By-laws
- Art 14. This regulation shall be put in force from _____ 19__.
- Art 15. Amendment of the regulation of this organization shall depend upon the decision of general meeting.

小豆郡社会教育研究会々則 (附)

第一條

本会は小豆郡社会教育研究会と称し事務所を小豆地方事務所
設置する

第二條

本会は社会教育法に基き香川県教育委員会事務局と緊密な連繫
と保ち常に郡内の社会教育関係者と連絡提携を図り社会教育本
来の使命を達成するを以て目的とする

第三條

本会は前條の目的を達成する為左の事業を行ふ
一 社会教育の刷新改善に因する研究調査
二 講習会研究会展覽会等の開催
三 其他必要なる事項

第四條

本会の会費は本会の趣旨に賛同し小豆郡町村会の推薦によるも
のを以て組織する

第五條

本会に左の役員を置く
一 会長 一名
二 副会長 二名
三 委員 一六名

第六條

会長副会長は總會に於て選任し委員は町村より一名を選出する
書記は会長より選出する

第七條

会長は本会を代表し会務を統理し副会長は会長を補佐し会長事
務ある時は之を代理する

第八條

本会は会務の執行に当り書記は常時会務を掌理する
役員は任期は一年とする但重任を妨げない

本会には在りては前年度の報告予算決算の承認其他必要なる事項を行ふ

第十條

本会は毎年一回総会を開くものとし必要に於ては臨時総会を開く

役員は必要の程度之を開き左記事項と附議する

第十一條

本会の目的を達成する為左の専任部を設け委員は何れかの部門に所属するものとし各部に互選による部長を置くものとする

- 一 成人教育部
- 二 公民館部
- 三 視聴覚教育部
- 四 婦人部
- 五 青少年部

本会の経営は據出金事業収入及寄附金を以て之に充てる

第十二條

本会の会計年度は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第十三條

附則
本会則は昭和二十一年一月日より施行する

第十四條

本会の会則変更は総会の決議による

第十五條

本会則は昭和二十一年一月日より施行する

Cultural Organ.

China
1950

F
650

昭和二十五年年度

愛媛縣文化團體一覽表

愛媛縣教育委員會

社會教育課

Recd Nov 1950

文化國家の建設は社會環境が文化的に整備されることが必要であり、この意味に於て文化団体の持つ社會的意義と責務はまことに重大で、これが健全な發展の如何は文化日本の將來に大きな影響をあたえるものであります。

近時本邦に於ても各種の文化団体の勃興しつつあることは非常によろこばしいことであります。眞の民主的文化國家の建設のため各々が努力と研鑽を續けることが大切であります。

教育委員會に於ては昭和二十三年度に於て文化団体一覽表を複製頒布致し、更に改訂して發行することとなり、本一覽表が各文化団体の横の連絡や文化社會建設の一助となれば幸であります。

この一覽表に於ては所謂文化の向上發達を目的とする趣味同好のグループや會員組織を持つてゐるものや地域婦人會及び青年団並に職域組合等の文化部は除いてあります。文化団体は自主的に所々に隨時組織されるものでありますから、是が實態は容易に把握出来難いので、従つて本表も相当誤謬や調査淺ルがあると思われ、御氣付きの呉れば是非當課へ御連絡下さい、と共、新しく組織される場合も御一報戴くよう御願ひ致します。

郡市名	数	會 概 数	
松山市	22	6,190	愛媛縣文化団体数調 昭和二十五年(度)
今治市	13	905	
宇和島市	15	2,001	
新居浜市	12	2,413	
西條市	12	840	
八幡浜市	10	945	
宇摩郡	9	1,280	
新居郡	9	290	
周桑郡	16	435	
越智郡	25	1,223	
温泉郡	25	1,321	
伊豫郡	7	715	
上浮穴郡	17	514	
喜多郡	18	536	
東宇和郡	18	1,598	
西宇和郡	16	1,217	
北宇和郡	13	451	
南宇和郡	13	1,015	
計	270	23,889	

松山市の部

団体名	所在地	代表者	會員概数	設立の趣旨 事業の内容	備考
伊豫史談會	松山市北村町	菅 敦太郎	九〇〇	郷土の史蹟と史の研究	機関誌発行
松山市子規會	米廣町	川本 臥風	一五〇	子規の遺業顕彰	機関誌発行
俳句	西條町	井上 頼明	一〇〇	俳句の研究	
愛媛美術協會	道後	渡辺 晴雄	五〇〇	美術の研究	
あけぼの會	大正寺	天野 明	五五	農村文化の向上	
親潮會	三津久里町	曾我 武雄	二〇	文化の向上	
八坂青年文化會	北夷子町	岡田 昇	三〇	青年文化の向上	
三津農青同志會	古三津	中矢 盛雄	四六	農業技術の研究	
光風 吟社	西垣生	藤谷 庸夫	八〇	俳句の研究	「光風」出版
愛媛蒼元社	出淵町	石田 上子	四〇	洋画	
垣生洋裁研究會	西垣生町	所田 勤一	三五	洋裁の相互研究	
松山管絃樂團	南塚町	稲田 一元	三九	音楽の研究	
愛光青年文化會	祝谷		四五	文化の研究	

松山地学会	松山音楽愛好会	松山スズメの協力会	松山映画の会	月夜クラブ
松山市勝山町	雄新中学校内	三番町 児童会館	松山市大町	松山市大町
小原清三郎	大内信鏡	五百木政一	松木健夫	尾本都
〇〇〇	三〇〇	一〇〇	五〇〇	五〇
書道普及	音楽研究	世界平和	映画研究	子供会
つるほい発行 「書藝」発行			松山映画の会 レボート	

今治市の部

団体名	所在地	代表者	会員概数	設立の趣旨又は 事業内容	備考
道心同志會	今治市魚生	小畑大樹	二〇	種修養農村志向上	
今治青年文化會	" "	神野芳郎	二〇	郷土文化の向上	
文学研究會	" 坂心通	池田義孝	一五	文学の研究鑑賞	
さつぎ會	" 北新町	越智忠雄	三〇	郷土文化の向上	
今治民主文化協會	" 大新田	芥川保雄	八五	" "	
美保町建設同志會	" 美保町	砂田照一	四五	文化向上	
今治スズコ学生クラブ	" 今治村	児玉達朗	二〇〇	若く精神の昂揚	
今治スズコ協力會	" "	龍 勇	二〇	" "	
今治生活研究會	" 吉本通	松本 三ノ	一〇〇	生活改善	
藤間流舞踊研究會	" 神木通	真木 信房	一〇〇	日本舞踊	
今治文化研究會	" 米屋町二	阿屋 稔	八〇	教育による情操教育	
今治木曜會	" 今治村	龍 勇	七〇	教養親和向上	
青年啓蒙同志會	" 寺町	木村 哲夫	二〇	青年文化向上	

宇和島市の部

団体名	所在地	代表者	会員数	設け取組又は事業内容	備考
宇和島市南郷文化協会	宇和島市南郷町沖	二荒芳徳	五〇〇	地方文化の向上	
宇和島 飄月會	振瑞通	田中ナミ	九〇	謡曲の研究	
宝生會	鋸町	参川 惇太郎	二〇		
向風會	竜ヶ前	向野 丹波	四五		
昌透會	一宮下	里見 昌透	五〇		
混声合唱団	南高校内	土谷 孝	六〇	音楽研究	
薫風社	広小路	野中 李造	五〇	野中 李造	
青洲宇和島支部		大塚 銀児	三〇	俳句研究	
かぐのみ 會	大浦	大塚 悦一	八〇		「かぐのみ」発行
愛媛あいらび 會	坂下津	内山 直	五〇	短歌	「あいらび」発行
川柳 鹿の子吟社	笠町	橋本 達峰	一五〇	川柳研究	「鹿の子」発行
宇和島児童文化協會	市役所			児童文化	
若洲流 柳恵會	中六町	三好 照政	六六	舞踊	
藤々會	鶴島町	藤間 藤太郎	五〇	日本舞踊	
宇和島児童文化協會	キリ館内	石崎 忠八	八〇	映画鑑賞	

新居浜市の部

団体名	所在地	代表者	役員数	設立の趣旨又は事業内容	備考
玉藻俳句會	新居浜市久保田町	西林鬼太郎	六	俳句の研究	
木トトギス俳句會	久保田町	〃	五	〃	
松の木振興會	澤津松の町	田辺直誠	一〇〇	文化生活の向上	
新居浜文化財保存會	〃多神社内	荒井源太郎	八	蹟名遺跡発掘保存	
みどり句會	出雲松林会館	村尾冬樹	六	俳句の研究	「みどり」発行
漫文會	新居浜市	西沢英子	五	茶道會	
新居浜華道協會	昭和通	西沢英子	四	華道會	
長唄 今藤會	登り道	山本 正	六	長唄の研究	
新居浜音楽協會	昭和通	竹村康治	五〇〇	音楽の向上	
新居浜文化連盟	泉壽寺内	島本 寛	一四〇〇	新居浜各社各會の交流	
新居浜体育協會	新居浜市役所	荒井源太郎	役員 二五	新居浜市役所体育協会上よりなる	
ナリソン洋画研究所	昭和通り	西沢富義	三	洋画の研究	

西條市の部

団体名	所在地	代表者	員数	設立の趣旨又は事業内容	備考
西條文化連盟	西條市明堂敷	戸田 國太郎	一〇〇	西條市民文化の振興	
西條児童芸術研究会	〃 大町新	秦 敬	五	児童の情操教育	
西條史談会	〃 下町	戸田 國太郎	二八〇	郷土史の研究	
友の會 西條支部	〃 大町	平野 アイ子	二〇	生活合理化文化向上	
竹 箒 會	〃 神拜新	徳永 泉山	一三〇	尺八の研究	
長 多 一 會	〃 三本松	島村 正賢	一五	謡曲	
觀世流謡曲一會	〃 大町	山村 時次郎	二〇	〃	
西條市美術協會	〃 茶室校外	磯 稔	二〇	地方文化向上	
西條市華道協會	〃 水見	武田 晴夫	二〇	地方美術の研究	
漢文會 西條支所	〃 中野	越智 啓光	二〇	華道の研究	
茗 葉 會	〃 大町	久木 孝子	二五	茶道の研究	
	〃 大町	山田 徳枝	二五	書道の研究	

八幡浜市の部

団体名	所在地	代表者	会員概数	事業内容	備考
神城文化會	八幡浜市海岸通	大塚康資	三〇	放養の向上	
合田新生會	合田	呂河久喜	二〇	"	
八幡浜映画研究會	本所 市役所内		四五〇	映画鑑賞	
八幡浜市トピア研究會	向灘	真部 幸夫	一三〇	音楽鑑賞	
レコード愛好會	松栢	米田 敬夫	四〇	洋曲鑑賞	
八幡浜市華道會	古町	酒井 啓甫	三五	流派亦合同華道研究	
青 石 會	美野町	今田 正三	三〇	俳句會	
八幡浜文化クラブ	広瀬	菊池 哲春	一五〇	御文化の向上	
旗巻演劇集団	新町	邊 仙一	三〇	演劇研究	
西沢史談會	本町	西村 琢郎	四〇	郷土史研究	

山形県部の部

団体名	所在地	代表者	会員数	設置の趣旨又は事業内容	備考
川文江文化協会	宇摩郡川江町	石川由光	二〇〇	郷土文化の向上	
金生文化協会	金生町	近藤正弘	一三〇	"	
上分文化協会	上分町	平山一郎	一六〇	"	
金田一文化会	金田川	藤井哲雄	一五〇	"	
三島文化協会	三島町	森久平	二〇〇	"	
婦人身と相談所	小室村	真鍋芳端	三〇〇	婦人の生活の相談に際す	
上尾村金種増進会	上尾村	松藤満寿太	五〇	増産技術の研究	
近井俳句会	近井	村上十郎	五〇	俳句同人会	
関川文化協会	関川村		八〇	文化教養の向上	

新居郡の部

団体名	所在地	代表者	會員数	趣向 又は内容	備考
佛教青年會	角野町小根	植崎一光	一五	社會教育研究	
讀書愛好會	〃	難波江界	一〇〇	讀書と座談	
こぶち合唱団	〃	南條薫	三〇	音楽の発表	
青灯會	〃 苜	松尾キヨ子	一〇	美術の研究	
十六日會	苜生村	園部 衡一	一〇	社會教育研究	
多喜次紅蓮會	多喜次村	合田	一五	義太夫の研究	
農業科学研究同好會	苜生村	印南秀克	一〇	農業科学研究	
兜會	杉木村	鴻上 彦郎	一〇	社會教育研究	
泉川町文化協會	泉川村	宇野卓夫	五〇	郷土文化研究	

岡桑郡の部

団体名	所在地	代表者名	会員数	調査の趣旨	備考
小松史談會	小松町	近藤延徳	四〇	小松町の史蹟	
さくら心會	〃	井上 弘禪	一〇〇	郷土の文化向上	
佛心寺坐禪會	小松町佛心寺	玉井 幸恵	三〇	坐禪の會	
皇徳婦人會	〃	玉井 あき	三〇	皇徳の修養	
鳳山文化會	田野村鳳山寺	鳳 友州	四〇	青年の文化向上	
田野村文化會	田野村	玉井 菊一	三〇	秋村民の文化向上	
徳田發句會	徳田村	渡部 高鶴	一〇〇	俳句の研究	
生華の會	丹原町	野口 繁一	一〇〇	活花	
五生川文化會	五生川町	山本 善一	四〇	一般市民の文化向上	
平和の會	吉岡村	高橋 貞節	三〇	修養の向上	
岡桑生産文化會	岡桑公民館	伊藤 幸彦	三〇	生産文化向上	
吉井心こり會	吉井村	岡本 千代一	三〇	青年の修養	
天がが心會	五生川町	一色 幸	一〇〇	農事研究	
三津屋教會	三津町三津屋	一色 左門	一〇〇	短歌研究	
だん水燈會	中川村湯谷口	伊東 通清	一〇〇	俳句の會	
浄瑠璃會	中川村	坂崎 常一	一〇〇	浄瑠璃の研究	

越智郡の部

団体名	所在地	代表者	会員数	設置の趣旨又は 事業内容	備考
櫻井文化會	越智郡櫻井町	坂井尚	三五	郷文化の向上	機関誌 機関誌発行
櫻井学生会會	〃	井出正	七〇	青年文化の向上	機関誌 機関誌発行
平凡文化會	菊間町	井戸春平	四〇	文化教養の向上	機関誌発行
伯方文化會	伯方町	阿部利行	一五〇	文化教養の向上	
鳥見童文化協會	伯方町	山口頼一	一五〇	児童文化の研究	
日高村文化會	日高村	善銅常郎	三〇	農村文化の研究	
小浪會	西伯方村	檜垣公好	五〇	農村文化の研究	
瀬戸崎村青年文化會	瀬戸崎村	越智仁士	四〇	農村文化の研究	
双葉吟社	岩坂村	林国衛	三〇	俳句文学の研究	俳誌「双葉」発行
津倉川柳吟社	津倉村	柳原壽義	三〇	郷文化の向上研究	
晴耕函讀會	富田村	越智 栄	八〇	農民の教養	機関誌発行
真砂會	生名村		一五	郷文化の向上	
下朝倉村文化會	下朝倉村	越智 東彦	三五	郷土文化の研究	

清水村文化會	清水村	檜垣 公好	二〇	郷土文化の向上
さゞなみ会	西白方村	田名 俊敏	二〇	農村文化の啓蒙
積善會	岩城村	木村 啓夫	二〇	政治文化の研究
青年啓蒙同志會	波止浜町	木村 光良	二〇	文化政治経済研究
岡山村俳句會	岡山村口総	小原 旭雄	二五	俳句の研究
農友會	〃 泉乃	藤原 弘	二五	農学の研究
報徳會	〃 浦戸	木村 良幸	二六	報徳運動
〃 共立會	〃 口総	田村 米造	二六	農業経済の研究
川柳 土つみ吟社	英間町	山崎 勉	二〇	川柳の研究
金曜會	〃	猪野 海直	三〇	政治社会研究
静流會	〃	檜垣 忠郎	三〇	尺八の愛好
福田児童伸びクラブ	大山村		二五	児童の福祉

滋泉郡の部

団体名	所在地	代表者	役員	活動内容	備考
浅海俳句會	浅海村	高橋栄一郎	一五	俳句研究	
浄瑠璃愛好會	難波村	渡部 徹	一六	健全課業	
かきつばた句會	難波村	宮下 格	一七	俳句趣味の普及	
謡曲の會	野田 兵一		一八	謡曲の研究	
浄瑠璃會	篠原 幸郎		一九	浄瑠璃研究	
花垣吟社	山本祐友		二〇	俳句研究	
俳句之会社	井上貞弥		二一	郷土俳諧の研究	月刊「俳句」の発行
読興會	大塚町栄町	佐伯誠也	二二	一般文化の向上	會誌「朝」の発行
田園文化の会	北條町片町	白神 寛	二三	一般教養向上	
北濃柔道會	南郷 欽馬		二四	柔道普及	
風早吟社	井上 春甫		二五	俳句研究	會誌発行
愛郷會	興居島村泊	田中 馨	二六	道義昂揚 會員の教養	
七島文化會	東中島村蒲	大宮 四郎	二七	島嶼部文化普及	政治文化体育の 三方面活動

伊豫郡の部

団体名	所在地	設立年	事業内容	備考
郡中新生會	伊豫郡中津町	八五	郷文化向上	
越部文化協會	越部町河野	五〇		
上灘文化協會	上灘町米岡	四〇		
春嶺會	栗町箱崎	三〇	俳句研究	
下三谷文化連誼會	南伊豫村所田	三五	郷文化建設	
中山溪友會	中山町			
同友會	北伊豫村		農利青年の啓蒙	

仁孝の部

団体名	所在地	代表者	会員数	設置の趣旨 事業内容	備考
黒土同志会	久万町	小川景介	二	農業改良	
久万讀書会	"	小川景介	五	図書巡回	
多雪会	"	野村春秋	一〇	繪画展示会	
チー左不スバンド	"	津田謹吉	一五	文化向上	
川瀬村教育会	川瀬村	久山公徳	一〇〇	社会教育	
教員クラブ	直瀬	光田一尾	二五	劇団	
生花クラブ	上畑野川	田中玄夫	一三	生花の研究	
遊楽会	面所村	高田慶徳	三六	郷土文化の向上	
久米映画班	中津村	佐賀久雄	一三	農村の慰安	
久米演劇団	"	三本光敏	二〇	演劇の研究	
黒森川児童班	中津村黒森川	渡部善男	一〇	児童会	
西の谷華会	西の石	伊藤美恵	一〇	華道研究	
俳句の家	双形村有枝	石本了子	四〇	俳句の研究	
双形四季花道会	双形村	吉木文三郎	四〇	花道研究	
小田所農林研究会	小田所村	上野繁雄	二五	農業経営の研究	
平野文化振興会	"	中岡 道壽	二五	農村文化の振興	
そうせい会	"	"	二〇	郷土人の教育向上	

喜多郡の部

団体名	所在地	代表者	会費数	事業内容	備考
大洲文化協会	大洲町大洲	山島徳雄	二〇	地方文化の向上	
新女性文化協会	大洲町大洲	橋本公子	一〇	地方文化の向上	
水郷川柳社	中村	今川正夫	一五	川柳の研究	
映画観賞會	"	田中徳次	四〇	映画鑑賞	
川崎クラブ	浜川村坂本	角藤政代	一五	讀書會	
中居谷生活俱樂部	" 中居谷	永田英喜	六	民生主義研究	
農業クラブ	" 宇野	大木清光	二〇	農民文化	
浜川村花道同好會	" 山崎	出水千助	三〇	花道の振興	
御旗二六會	御旗村		五	文化の向上	
新緑會	平崎町高田	水本雄蔵	五	教育の向上	
劇団ピノキオ	五十崎町	高橋金郎	三〇	児童情操教育	
大瀬芙蓉會	大瀬村	小泉重治	一五	俳句の研究	

東牟婁郡の部

団体名	所在地	代表者	会費数	事業内容	備考
東牟婁郡文化振興会	牟婁町	清水清幸	五〇	文化向上	
牟婁文化振興会	鬼窪	島石友喜	一〇〇	"	
牟婁和名漁業会	鬼窪	上甲明石	一〇〇	俳句研究	岸、発行
光心善道会	馬場	佐伯秀雄	八〇	映画観賞	
自然科学教育研究会	牟婁高校	河野信幸	三五〇	善道振興	光心、発行
牟婁史談会	牟婁町	上野富	五〇	自然科学研究	
雑学会	"	本田真喜雄	一五〇	歴史研究	
野村文化協会	野村町	坂田新一	五〇	俳句研究	
野村農業研究会	"	清水佳一	一〇〇	郷土文化向上	
野村文藝協会	"	富永照夫	五〇	謡曲	
野村体育会	"	女頭芳一	三〇	農業技術の研究	
野村茶道会	"	菊山英一	四〇	体育研究	
惣川文化会	惣川村	菊山英一	三〇	茶道研究	
大澤会	玉津村	中田照吉	二〇	文化向上	
生花研究会	"	坂本高志	三〇	園芸	
登心会	田又筋村	公民館	一〇〇	生花	
奥成文化会	奥成村	上甲恭	八〇	善道	
		土居唯一	六〇	文化の研究	奥成文化発行

西宇和郡の文化

団体	所在地	代表者	員数	設立の趣旨又は事業内容	備考
長瀬米児童遊園	豊前郡長瀬米村	二宮武夫	四五	児童の情操教育	
よゝ子の会	川上村	原田玲子	五〇	児童の情操教育	
青年文化連	川島	清水公典	二五	地方文化の向上	
新興倶楽部	三木生村	川島 悟	六八	社会文化の向上	
長瀬米村郷土交會	長瀬米村	二宮喜保	一八〇	郷土史の研究	
三瓶文化クラブ	三瓶町	足次 勇雄	四〇	文化の向上	
讀書會	三瓶町 本町	伊藤 收蔵	三〇〇	讀書による文化の向上	
文化會	西宇和郡伊方村	渡辺 高太郎	五〇	文化教養	若菜に発行
大友文化會	伊方村 森	山本 長松	三〇	農村文化の向上	
青年文化會	三木村 井	二宮 博成	五〇	村政の研究	
路會	三木村 橋	上杉 武由	四五	文化教養の向上	
農村文化研究會	三木村 畑	菊池 勇郎	一四	農村文化の研究	
みけぼの會	三木村 岡本	石井 茂吉	八〇	文化教養の向上	
日大 郷土會	日土村	清水 芳保	一〇	郷土文化の研究	日土に発行
郷土自治研究會	"	"	二〇	農事研究	機関紙発行
よゝ子の會	"	二宮 俊男	二〇〇	子供の情操教育	

北守和郡の部

団体名	所在地	代表者	会員数	設けの趣旨又は 事業内容	備考
吉田町青年民謡同盟	吉和郡吉田町	長谷好久	五	文化講座	
吉田軽音楽俱樂部	"	橋本春	二	音楽の研究	
吉田混声合唱団	"			"	
高光川柳會	"高光町高津		一	川柳研究	「高光」発行
改進同志會	"近永町		四	農村文化の向上	
みどり會	日吉町下鍵山	大野友士	四	郷土文化の向上	
愛郷同志會	板丸町	竹葉勇	二五	"	
喜佐方村農村青年會	喜佐方村		五三	農村文化の向上	
鹿の子子供會	"	泉洋一	五五	児童劇の研究	
五間村農村青年連盟	五間村	築神久雄	五〇	農事の研究	
五間混声合唱団	"	高島茂久	八〇	音楽の研究	
三島村革新同盟	三島町近川	松本重晴	二〇	民謡及的農村建設	
豊岡青年連盟	新町豊岡	中湯一	二五	農事の研究	

南宇和郡の部

団体名	所在地	代表者	会費数	取組の趣旨又は事業内容	備考
平落文化の會	平落	中川倉一	三〇〇	郷土文化の建設	
南宇和郡文化連盟	平落	三好龍諦	二〇〇	郡内各団体の連絡	
愛媛詩人社	総持郡村	久保隣一	六〇	作詩の研究	
南宇和郡児童文化協會	〃	松下春莊	一〇〇	児童文化の向上	
篠南文化連盟	一本松村	国松龜次	二〇〇	社会教育向上	
松 嶺 會	〃	美田 清	三〇	詩歌の研究	「松嶺」発行
児童文化會	〃	竹場 重春	三〇	児童文化	
緑 同 志 會	総持郡村	古谷 泉明	四〇	文化道徳社会建設	
曾 都 同 志 會	〃	森本 春夫	五〇	農村文化の促進	
船越文化會	舟外海村船越	本田 鉄男	三〇	讀書と座談	
月影子供會	中泊	吉沢 豊喜	一〇〇	児童の情操教育	「月影子供會」発行
愛那同志會	〃 内泊			明朗 郷土の建設	
柏文化協進會	外海村 柏	赤松 芳馬	三五	郷土文化産業會強化	

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
Civil Affairs Section
APO 500

000.8 (31 Mar 50)CAS-CE

31 March 1950

SUBJECT: "Correlation of Social Education Agencies Governmental
and Private."

TO: Chief, Chugoku Civil Affairs Region, APO 248
Chief, Hokkaido Civil Affairs Region, APO 7-5
Chief, Kanto Civil Affairs Region, APO 500
Chief, Kinki Civil Affairs Region, APO 25
Chief, Kyushu Civil Affairs Region, APO 24-5
✓ Chief, Shikoku Civil Affairs Region, APO 1050
Chief, Tohoku Civil Affairs Region, APO 547
(Attn: Civil Education Officer)

Attached is copy of project entitled "Correlation of Social Education Agencies Governmental and Private" developed by the Tokai-Hokuriku Civil Education Section. Copy together with Japanese translation is enclosed for your information.

FOR THE CHIEF, CIVIL AFFAIRS SECTION:

2 Incls
1. Project
2. Japanese Trans.



CORRELATION OF
SOCIAL EDUCATION AGENCIES
GOVERNMENTAL AND PRIVATE

INTRODUCTION

For the next two hours we are going to consider the problems of correlating social education agencies, both governmental and private. We will discuss correlation of governmental agencies with other governmental agencies; correlation of private agencies with other private agencies; and correlation of governmental agencies with private agencies.

I think it unnecessary for me to give you reasons for the necessity of developing some plan for correlating the efforts of these various agencies. I am sure that all of you have at some time noticed the duplication of effort by various agencies; the duplication of expense; the confusion that has been created through these agencies working for the same ends, but using conflicting methods. Further, I am certain that you are aware of the many difficulties which governmental agencies are encountering in their efforts to reach all of the people.

I am going to propose to you a plan for coordinating the activities of these various agencies. After I have explained this plan you will be given an opportunity to practise operating under such a plan, to present the results of your practise to the entire group, and finally to discuss the plan and ask further questions about it if you desire. I will explain later how this will be accomplished.

This plan, or method of coordination is known as the "community coordinating council". It is employed by a great many communities in the United States, and has been found to be very successful. In Ota-machi, Ibaraki prefecture, I had the experience of forming such a council and of working with it for a period of about ten months. I wish to describe this council to you, tell you how it worked, some of the difficulties that it encountered, and some of its successes.

CHART I

This is a picture of the community coordinating council in Ota-machi. The council was formed with the following purposes in mind:

1. To coordinate a variety of programs devoted to community problems into one compact, practical, and more effective program.
2. To establish a central liaison through which governmental agencies and private agencies might operate to correlate their programs, projects, et cetera.

Here is a brief description of the manner in which this council was formed:

1. Each of the agencies represented up here (point to the chart, indicating the different organizations) was asked to send a representative to a meeting in the town hall. At this meeting the Community Coordinating Council was thoroughly explained. The date for another meeting was set, the meeting to be held at the same place, same day and same hour three weeks hence. The representatives then returned to their individual organizations and explained the Community Coordinating Council idea to them. Each individual organization then decided whether or not it wished to be represented on the Community Coordinating Council. Those who decided that they would take a part in this council sent their representatives back to the second meeting of the council. This group of representatives became the charter members of the council. They then elected their officers, who were the chairman, vice-chairman, secretary, and treasurer.

Naturally this did not take place without much discussion and without having to arrive at many decisions. I will describe some of the obstacles which this group had to surmount, but will defer this description until the latter part of my talk. In the meantime, I now wish to describe for you the more important details of the organization of the council as they were eventually decided.

1. The council is strictly a voluntary organization. (Refer to the chart) All of these groups are represented of their own accord. They are free to drop out of the council at any time, and do not have to receive permission from anyone to do so.

2. No group is required to participate in council projects. The council has no authority whatever. It is merely an organized means for these groups to get together for concerted action when they so desire. It also serves as a media of information allowing each group to inform all others of projects and programs it is conducting.

3. There are no paid officials in the council. There are no funds for entertaining. There are no travel expense accounts, et cetera. Should the occasion ever arise for the council to incur this type of expense, it could do so only after first obtaining the consent of all organizations represented on the council.

4. There are some necessary expenses, such as postage, stationery and other running expenses. Normally these are very small. To provide a fund for these expenses each organization represented on the council is charged a fee, determined according to the size of the organization. As an example, you might establish the annual fee as being one yen per member of each organization represented on the council. Then the Seinen Dan, having 349 members, would pay 349 yen per year. The Fujinkai, having 800 members, would pay 800 yen per year. The Boy Scouts, having 40 members, would pay 40 yen per year, et cetera. Another method of finance might be as follows:

(a) All non-profit organizations be charged a minimum fee of 100 yen, plus 10 sen for each member of the organization.

(b) The Chamber of Commerce be charged 100 yen for each business represented by the Chamber, plus 10 sen for each employee in the businesses represented by the Chamber. This seemingly heavier charge to the Chamber of Commerce is based on the premise that all improvements in the welfare and well-being of the community eventually result in more business and more profits to community businesses and industries.

(c) Other variations could be worked out to suit the varying circumstances and conditions found in different communities.

5. This money may be spent only for routine business, and, if the fund derived from this fee is sufficient, for projects that affect the entire community and that are approved by all members of the council.

6. No single representative on the council may make a decision or commitment for his organization unless his organization has specifically authorized him to do so.

7. The council will provide, at least once a year, possibly more often, a written financial statement to all of the organizations it represents. It will make arrangements to have its books audited and approved by these organizations.

8. The council does not have a constitution. It does establish rules of order. Decisions as to the number of officers, the manner in which they are to be nominated, the method of election, and other procedures, are merely entered in the minutes of the council, and are thereafter considered as official.

9. The representatives to the council cannot possibly carry out all of the committee duties that develop. Therefore, when the council places an organization on a committee, some other member of the organization is placed on the committee by the officers of the individual organizations concerned. The representative to the council is left free to be concerned only directly in council meetings.

At this point I wish to refer to some more charts to show you the manner in which this council functions.

CHART II

This chart shows the relationship between official governmental agencies, semi-official agencies, and the Community Coordinating Council. The chart indicates only 12 governmental or semi-official agencies. You know that there are many more, but 12 are sufficient for an example.

Note that the relationship between these agencies and the Council is equal and works both ways. The council and the agencies are on equal terms. Neither gives orders to the other, or in any other way exercises authority over the others. The council may go to any or all agencies with its problems or suggestions. Or the agencies may come to the council with their problems or suggestions.

Now let us look at Chart III to see an example of the manner in which the council serves to coordinate the works of various public and private groups.

CHART III

You will notice that this chart is an extract from Chart II, rearranged a little for convenience.

Here the police department is confronted with a problem which requires community cooperation to solve. So the police take this problem to the Community Coordinating Council.
(Point to line 1)

After school and during the evening hours there are bands of school boys roaming the streets and alleys of the town. The boys are rough and malicious. They break windows, tear down fences, deface signs and posters, and create much noise and disturbance. The police do not wish to arrest such young boys, and they cannot possibly put enough policemen on duty to control all of these gangs. They ask the council to try to find a solution to the problem.

The council discusses this problem for a while and decides that it will be necessary to establish a committee to investigate this problem thoroughly and then recommend some course of action. The chairman asks which organizations are especially interested in this problem. The following representatives indicate interest: PTA; Chamber of Commerce; Seinen Dan; Boy Scouts; and Girl Scouts.

The chairman immediately appoints these groups to form a committee. (Point to line 2 and to the committee named). This committee is instructed to investigate and study the problem thoroughly, then to present a proposed solution to the council.

The committee meets and decides that it must ascertain the reasons for this type of delinquency; so it goes to the juvenile court authorities and to the welfare section to see what information they may have on these cases. (Point to line 3). From these sections the committee learns that the boys involved in these gangs are not fundamentally bad boys. But they are full of life and energy and must have some means of expressing themselves and expending their energies. Both agencies recommend that the community needs some kind of recreational program in effect during after school hours and evening hours to give these lads an opportunity to let off their energies in ways that will be satisfying and at the same time beneficial.

The committee considers these recommendations and decides that they provide the best possible answer. So they begin to study the possibilities of developing such a program. They find that boy and girl scout leaders and seinen dan leaders, as well as some of the physical education teachers in the schools would be willing to supervise playground activities during these hours. They also find that the two school playgrounds will accommodate children and are available to them; but they are on the outskirts of town and too far away for many of the children to come to them. They also find that there are no vacant lots in the town that could be converted into playgrounds.

Next they discover that there are certain streets in the city that do not have much traffic, are wide, and could be used for playing many kinds of games. These streets are conveniently located in three different sections of the town and together with the school playgrounds would afford attractive recreational programs for every child in the town.

The committee then goes to the police (Point to line 4) with the plan and inquires if it would be possible to close these streets to traffic during after school and evening hours. They tell the police how they expect to use the streets and how they will be supervised.

The police answer that they are in accord with the idea; that they can take responsibility for putting up and removing traffic barricades at the beginning and end of the recreational periods; that they can even police these areas to see that the barricades are not violated; but that such a plan must be approved by the town assembly.

The committee now returns to the Community Coordinating Council (Point to line 5) explains the facts gleaned from its investigation, and offers the plan it has developed. The council discusses the plan, approves it, and decides that it should be proposed to the town assembly.

(Point to line 6). The committee next presents the plan to the town assembly. The town assembly considers the plan, approves it, issues a directive to the police empowering them to block these streets when the program is activated, and sends word to the Community Coordinating Council of this action and the request that they start the program. (Point to line 7)

I now wish to point out to you a number of problems encountered when forming this first community coordinating council in Ota-machi. In western countries we have an old saying to this effect: "Fore-warned is Fore-armed". I believe that you can overcome or avoid many of these problems with little difficulty if you recognize the possibility of their arising and take steps to nullify them before they can become troublesome.

1. Determining the characteristics necessary to entitle an organization to representation on the council posed a difficult problem. For example, an embroidery class desired to be represented; also a coin-collectors' club. There were many other interest clubs of this kind. All felt that they should be represented on the community coordinating council. After much discussion it was finally agreed that only those organizations whose programs and projects held community-wide implications should be represented.

2. Some political organizations and some clubs whose objectives or background were political in nature wished to join the council. Questioning revealed that they conceived of the council as a perfect media for disseminating their ideologies. Discussion led to the conclusion that this council was conceived as purely a service organization, serving all people of the community regardless of race, religious or political faith, or social position. Consequently it was decided that no organization of political nature or background would be admitted to the council. It was further decided that the council would have to scrutinize all projects very carefully in order to be sure that it did not lend itself to any political use.

3. It is apparently a traditional feeling that the mayor, the richest man in town, or important public officials should be officers of an organization, even though they are not directly connected with it. I have noticed this tendency in PTAs and other organizations in Japan, and it showed itself again in the Community Coordinating Council. Here they desired to elect the Mayor and the chairman of the town council to offices in the Community Coordinating Council, even though neither of these men were representatives to the council from any private organization.

The Mayor had expressed enthusiasm over the idea of such an organization and the members of the council felt that he ought to be chairman.

Questioning of the Mayor elicited the reply that he felt that the council would make an excellent political and commercial instrument for him, and he had approved it for that reason.

When the council members learned of his reasoning they came to realize that they must keep their business entirely within the membership of the council. Eventually the chairman, vice-chairman, secretary and treasurer were elected. None of these were public officials or politicians. All of them were regularly appointed by local organizations as representatives to the Community Coordinating Council.

A dentist representing the medical association was elected chairman. A hardware merchant representing the Chamber of Commerce became secretary.

Later, when sub-committees were formed, all eight were chaired by citizens holding no official public positions.

For some time after this, the Mayor and other public officials misunderstood the situation, felt that they had been treated with discrimination, that this council intended no liaison with their official agencies, and that the council was to be feared as an organization which would attempt to take control of the town affairs away from them. It was almost eight months before they realized the true purpose of the council, learned to appreciate its value and to fully cooperate with it.

Since then the town assembly and mayor have discovered that the community coordinating council affords a perfect mirror for reflecting public opinion on town matters of a non-political nature. They not only cooperate with the council in matters needing official assistance, but they frequently bring matters of public concern to the council to receive the opinion of the council before acting upon them. Most frequently the members of the council take these matters up with their own individual organizations, then report back to the council on the feeling of their groups. These reports give the town officials a very good idea of what actions the community approves and will support. It gives the officials an opportunity to know the wishes of the community and to act in accordance with those desires.

4. It was rather difficult to make the representatives to this council understand why they should not have a constitution, by-laws, and all of the other trimmings of a complete federation. Neither could they understand that they had no authority to issue orders or directives, nor to act in the name of the organizations they represented unless fully authorized by those organizations to act for them.

There was a strong tendency to consolidate all organizations into one body. It was necessary to spend much time in discussing the difference between objectives and roles of individual organizations and those of the council. The members were finally led to realize that they were not a federation or union, but were merely a means by which organizations having similar or overlapping community objectives and programs might unite their efforts if they so desired.

5. "Jealousy"; "Face-saving"; "Autonomy"; all presented problems. The youth organization felt that it must develop its own recreation program and abstain from coordinating with other agencies in developing a community-wide recreation program. It feared that its own program would be submerged in the larger program, lose its identity, and cause the youth organization to seem less important. In other words, the youth feared that their organization might "lose face".

The instrumental music club feared that joining with other cultural groups to promote city-wide festivals, exhibits, et cetera, would lower the quality of its own program, and would lessen the importance of the public concerts which it presented.

All of these "emotional" reactions took time and patience to overcome. A few of the cultural clubs did withdraw from the council because of this type of immature reasoning.

Eventually all of these issues were settled and the council was able to undertake the business for which it was intended. At first they had difficulty in discriminating between problems and programs properly their's to solve, and those that belonged to specific private or governmental agencies. After many false starts they finally classified their work in two ways:

1. Long-term projects designed to contribute to community progress.
2. Temporary short term campaigns or activities for community betterment.

Here is a list of the long-term activities which this council has served to organize and promote:

1. Establishment of an all-city library by all of the organizations represented on the council.

2. Development of intra-city sports programs on a "year-around" basis.

3. Supervised playground for children on streets set aside for play areas. Also out-of-town hikes and picnics for children.

4. Establishment of a CPH. They persuaded the town assembly to aid financially in this project, and conducted a campaign to raise the rest of the necessary funds.

5. A committee was formed to assist all youth organizations with their programs. Out of this effort grew a very fine all-inclusive recreation program, including people of all ages. Recreation centers were established in the three geographical centers of the town. Local craftsmen such as leather-workers, bamboo-workers and photographers volunteered to conduct hobby classes at these centers. Several music and drama clubs that had almost disbanded for lack of interest were revived and presented a number of community performances of excellent quality. Several adult organizations combined with an instrumental music club to sponsor social dancing. This resulted in the development of several good dance bands, and Ota-machi became one of the very few towns I have observed where social dancing plays a prominent part in recreational activities without the conflicts and objectionable features so familiar to most communities.

6. Community forums were planned in order to fill the need for acquainting all of the people with certain problems. I observed only the first of these, but it was very well handled. The subject was "Juvenile Delinquency". The leaders of the forum had done much research in preparation for it, and some valuable community understandings were arrived at.

7. A campaign was conducted resulting in sufficient funds to complete the health center. Assistance was also given in developing a plan for full utilization of the health center.

Short-term projects and programs were carried out by means of posters, talks, announcements and public meetings. Here are a few examples of such projects:

1. Improvement of Dist.
2. Community Chest and Red Cross campaigns.
3. A program for developing visual aids for schools and community.
4. An anti-blackmarketing campaign.

That last one was pretty hard to put over, because most of the population, including some members of the Community Coordinating Council itself, were from time to time involved in at least petty forms of black-marketing.

5. A safety campaign, covering fire, home accidents, and traffic.

6. A few special projects for relief of unusually needy and deserving families.

Representatives from communities in Gunma, Saitama and Tochigi prefectures, as well as from other communities in Ibaraki, have come to Ota-machi to observe the community coordinating council at work, and to observe some of the programs which it has developed. The council is very proud of the job it has done, and has gone so far as to call special meetings just to demonstrate to visitors the manner in which it works.

I sincerely recommend to you that you give this matter most serious consideration as being a program which you should inaugurate in every community.

C O P Y

CORRELATION OF
SOCIAL EDUCATION AGENCIES
GOVERNMENTAL AND PRIVATEDIRECTIONS

A. You will now observe the cards which were handed to you as you entered the meeting. Each of them has a colored border. If you will gaze around the room you will observe colored cards on the wall. You will go to the wall card bearing the same color as the card which you hold. You will find that there are ten of you meeting at each card.

B. In each group of ten, one of you bears a card with an asterisk (*) on it. That person is chairman of the group. This method of deciding a chairman was used in order to save the time of electing one, as we must hurry.

C. Each of the cards bears the name of an organization. If you are a man and find that you represent fujinkai, or girl scouts, trade cards with one of the ladies in your group. If there are no ladies in your group, just be courageous and do your best to represent the female organization. And if any of you ladies find that you represent a man's organization, go right ahead and represent it.

D. Each of the chairmen will report to me, here at this desk, immediately. You will be given a sheet of directions which you are to read to your group. Your group will go to work immediately after you have read the directions to them.

E. The chairmen will appoint a secretary before the group meeting starts. The group secretary will be responsible for keeping notes on the group meeting. Immediately after the meeting, which will last for 30 minutes, the groups will reassemble here, when each secretary will be allowed exactly 5 minutes in which to report the meeting of his group.

F. Let's see how well you can follow directions. **START NOW!!**

C O P Y

**CORRELATION OF
SOCIAL EDUCATION AGENCIES
GOVERNMENTAL AND PRIVATE**

PROBLEMS

I. Dancing. There is a public dance-hall in town. It is very badly managed. Many adults of ill-repute frequent this hall. There is much drinking at the dances. Many of the young men and women of the community like to dance. Since this is the only place offering an opportunity to dance the young people are attending. They are exposed to bad manners, coarseness, drunkenness and temptations of an undesirable nature. A number of unfortunate incidents have developed from this situation. Some parents have gone to the police and asked them to close the hall. The police say that it is legally operated and cannot be closed. However, the police are concerned. They have had to arrest several young men and one girl for drunkenness and improper conduct in public. So the police come to the community coordinating council with the problem.

You are the Community Coordinating Council. You will report to the general meeting the steps which you propose to take in your efforts to solve the problem. Include in your report the following points:

A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas presented for solving this problem.

B. The organizations which will coordinate thru a committee to engage this problem.

C. The official agencies which the committee will approach for assistance and coordination in working out a solution to the problem.

II. A woman has come to your council to report the following problem concerning one of her neighbors:

Mrs. Charr has three small children. The oldest, a boy, is in the fourth grade of elementary school, but is frequently obliged to stay home to take care of the younger children. The second child is five years old. He started to attend the day nursery. However, the nursery is overcrowded and cannot give adequate individual attention to this child. The child has presented serious behavior problems and has been expelled from the nursery. The baby, because of improper care, in poor health. She does not receive proper nutrition. The father is dead. The mother has to go all of the way across town to find

employment. Her living and that of the children is entirely dependent on her day wages. She cannot afford to hire anyone to stay at home to care for the children. She cannot take them with her to her work.

You are the community coordinating council. Your problem is to ascertain some means of maintaining the unity of this family, get the older boy into school full time, and overcome the other bad conditions presently existing.

You will report to the general meeting the steps which you propose to take in your efforts to solve the problem. Include in your report the following points:

A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas presented for solving the problem.

B. The organizations which will coordinate through a committee to engage this problem.

C. The official agencies which the committee will approach for assistance and coordination in working out a solution to the problem.

NOTE: POSSIBLE SOLUTIONS (Not to be written in the instructions which are given to the group)

1. Committee go to the chamber of commerce; find some kind of well-paid position if mother is capable of holding it. Perhaps find some kind of piece-work she could do at home and that would pay her sufficiently well to support the family. This would also allow her to take care of the children, freeing the oldest boy so that he can attend school regularly.

2. Committee attempt to get public assistance for the family, by working through the Minsei lin.

3. Committee refer the mother to child-welfare center for advice concerning the problem child.

4. The council go to the child welfare center, who would refer them to jido fukushishi.

5. The council refer to seinen dan for volunteers to stay with the children during the mother's absence at work.

Solutions 2, 3 and 4 are preferable. Solutions 1 and 5 put the council in direct operation (See next problem.)

Possible membership of the coordinating committee:

PTA; fujinkai; medical association; religious council; Chamber of commerce; seinen dan.

III. A woman has found a wayward child, dressed in rags, dirty, unkempt, hungry, sleeping in an old packing box back of the CPH. The only food the child has had was what he could find in garbage boxes. He has stolen some food from market places. He says he has no parents or relatives.

You are the Community Coordinating Council. The woman has taken the child home temporarily. She has come to you with the problem: "What can be done to give this child a home, clothing, food, love, and schooling?"

You will report to the general meeting the steps which you propose to take in your efforts to solve this problem. Include in your report the following points:

A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas presented for solving this problem.

B. The organizations which will coordinate through a committee to engage this problem.

C. The official or semi-official agencies which the committee will approach for assistance and coordination in working out a solution to the problem.

NOTE: (Not to be written in the instructions which are given to the group)

This is a trick problem. The answer is that the council should take no action other than to refer the problem to the child welfare center which has a definite program, medical, public aid, et cetera, for caring for children of this class.

This problem is inserted because these coordinating councils are inclined to attempt to take everything on their own shoulders instead of referring specific problems to the agencies already established to handle just these problems.

IV. The Social Education Section has brought the following problem to the council:

We have been successful in assisting organized youth groups such as seimen den, boy scouts, girl scouts, YMCA and YWCA to understand democratic procedures and to develop interesting and worth-while programs. But we find it difficult and almost impossible to reach the youth who do not belong to organizations. There are many more of these youth than there

are those who are organized. We need to reach them and to help them. They need to be led to develop good interests, to develop a sense of service to the community, and to develop tastes for good and productive ways of using their leisure time.

We wish to conduct a prefectural-wide contest in cultural, hobby and handicraft arts. We want everyone to have an opportunity to participate in this contest. Our plan is that each community shall open hobby shops, hold classes in leather working, wood-carving, photography, painting, et cetera. Develop choruses, bands and orchestras. Create interests in other types of similar activities. Conclude their program with a community exhibit, where the winners in each class of activity will be determined. Then we hope that each Gun will conduct a similar exhibit where all community winners may compete. Following that, we hope to hold a prefectural contest, where all Gun winners will compete. We have a small amount of money which we can use to assist in this plan; however, we cannot tell you how much we can give until we ascertain how many communities are going to conduct this program.

The important thing is that we want this program to actively reach and assist everybody---not just the members of organized groups. Can you help us with this?

You are the community coordinating council. You will report to the general meeting the steps which you propose to take in your efforts to develop this community-wide program. Include in your report the following points:

A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas for promoting and organizing this project.

B. The organizations which will coordinate through a committee to engage this problem.

C. The official or public agencies which the committee will approach for assistance and coordination in working and carrying out the various aspects of this program.

V. The Public Health Section comes to you with the following problem:

Our community standards of cleanliness and sanitation are dangerously low. The entire community is in imminent danger of suffering any of several types of epidemics due to disease bearing vermin and insects. We must clean up all of the old trash piles, garbage dumps, et cetera, that are infested by rats. Many of them are polluting our wells and other sources of water. We must teach the people not to wash clothing, household utensils, or themselves in dirty water from the ditches and streams. We must drain and eliminate places where stagnant or slow moving water collects. We must not only do these things, but we must also persuade the city assembly to

find some means of assuring that such places remain clean; that garbage and other refuse is promptly picked up and properly disposed of. We must also clean the weeds and undergrowth from vacant lots, roadsides, and the banks of the river, to prevent hidden deposits of refuse; and we must find some means of keeping these constantly in good order.

All of this is necessary if we are going to be a healthy community and if our children are to be given an opportunity to grow up healthy and clean.

Our section can plan the necessary actions to be undertaken. We can furnish disinfectants and other sanitation materials. But we will need much help from the community. We will need volunteers with carts to haul away refuse, (rubbish) et cetera. We will need volunteer workers to be trained by us to do disinfecting. We will need other volunteers to cut weeds and underbrush, get rubbish to collection points for the carts, et cetera. We will need people to organize meetings, to explain the purpose of this campaign, to educate the general public to the purposes of the campaign, the necessity for it, and the part every individual plays in promoting the good health of the community.

We will appreciate anything you can do to help make this a successful program.

You are the Community Coordinating Council. You will report to the general meeting the steps which you propose to take in your efforts to solve the problem. Include in your report the following points:

A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas presented for solving this problem.

B. The organizations which will coordinate through a committee to engage this problem.

C. The agencies, official or otherwise, which the committee will approach for assistance and coordination in conducting this health campaign.

VI. Each member of the council has been reporting the activities his individual organization is conducting. These are only those activities which might be of interest to other organizations.

Mrs. Otani, the representative of Fujinkai, reports a very detailed program on "New Life Improvement". It includes the following programs:

- (1) Simplification of Wedding Ceremonies.
- (2) Simplification of standards of the Funeral Ceremony.

- (3) Planned budgeting of household expenses.
- (4) Birth Control.
- (5) Improvement of the Home.

Mrs. Otani says that, while the women feel these problems are important and have a great bearing on the welfare of the entire community, they have not done much more than discuss the problems. No action has been taken, as the women find it difficult to work out a plan that will enable them to arouse the interest and enthusiasm of the entire community, and that will get the community to agree to abide by a plan. The Fujikai would be very happy to work with other organizations on this program if they are interested in making it an actuality.

You are the Community Coordinating Council. You will report to the general meeting the steps which you propose to take with regard to this program. Include in your report the following points:

- A. A brief resume of your discussion, including the one or two most desirable ideas presented for developing this program.
- B. The organizations which will coordinate through a committee to work on this program.
- C. The official agencies which the committee will approach for assistance and coordination in making this program effective in the community.

CORRELATION OF
SOCIAL EDUCATION AGENCIES
GOVERNMENTAL AND PRIVATE

WORKSHOP ASPECTS

I. ORGANIZATION

- A. Delegates will be broken down into groups of ten.
1. Prepare sets of cards numbered 1 to 10. Each set in a different color. 15 sets and colors.
 - a. Put on each card the name of one of the organizations represented on the community coordinating council.
 - b. One card in each set will bear an asterisk (*), this designating the chairman of the group.
 - c. Shuffle all of the sets together and then pass out indiscriminately to delegates as they enter the hall.
 - d. Set up meeting places for each group, designating them by large colored cards identical with the fifteen colors found on the small cards.
- B. Draw up a separate list of instructions to be read to the entire assemblage just before they break up into small groups.
- C. Draw up 15 sets of problems, one set to be given to the chairman of each group. This will include not only the problem but also any specific directions to the group as a whole.

II. BREAKDOWN OF PROGRAM

A. Introduction

1. Topic, need for discussion and for development of plan to solve the problems presented.
2. Brief presentation of the Ota machi Community Coordinating Council.
3. Time----1 hour.

B. Workshop.

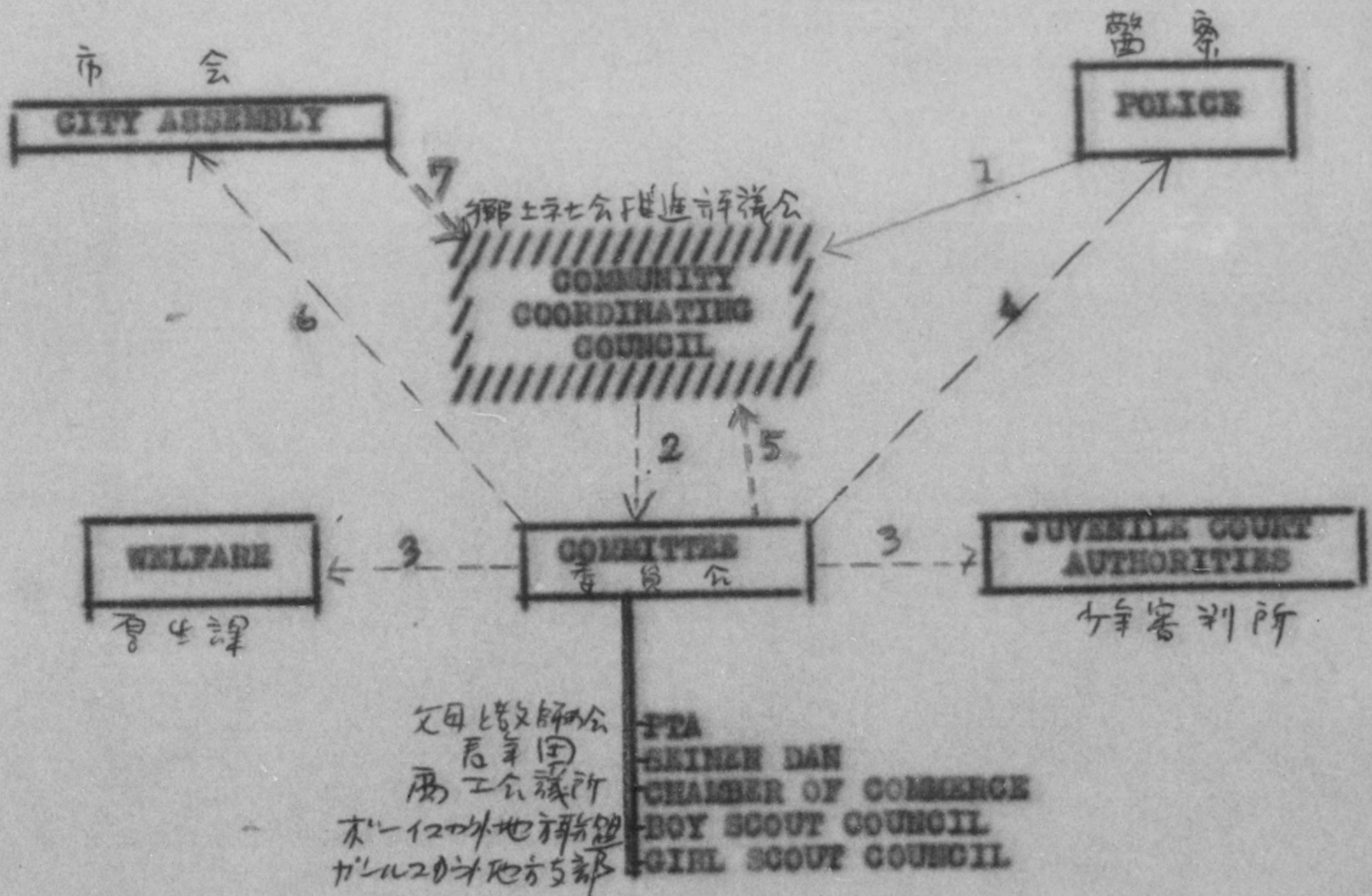
1. As outlined in (I) above.
2. Time----30 minutes, exclusive of reading of directions.

- C. Reports of results of workshop.
 - 1. Secretarys of each group will be given five minutes each to report accomplishments of the group.

- D. Discussion
 - 1. This time to be arranged to fit in with general needs of the entire program.
Free discussion period.

FUNCTIONING OF
COMMUNITY COORDINATING COUNCIL

EXAMPLE
郷土社会推進評議会の機会
例



RELATIONSHIP OF GOVERNMENTAL AND SEMI-OFFICIAL AGENCIES TO THE COMMUNITY COORDINATING COUNCIL

社会推進評議会と
官会庁及それら準ずる機関
との関係

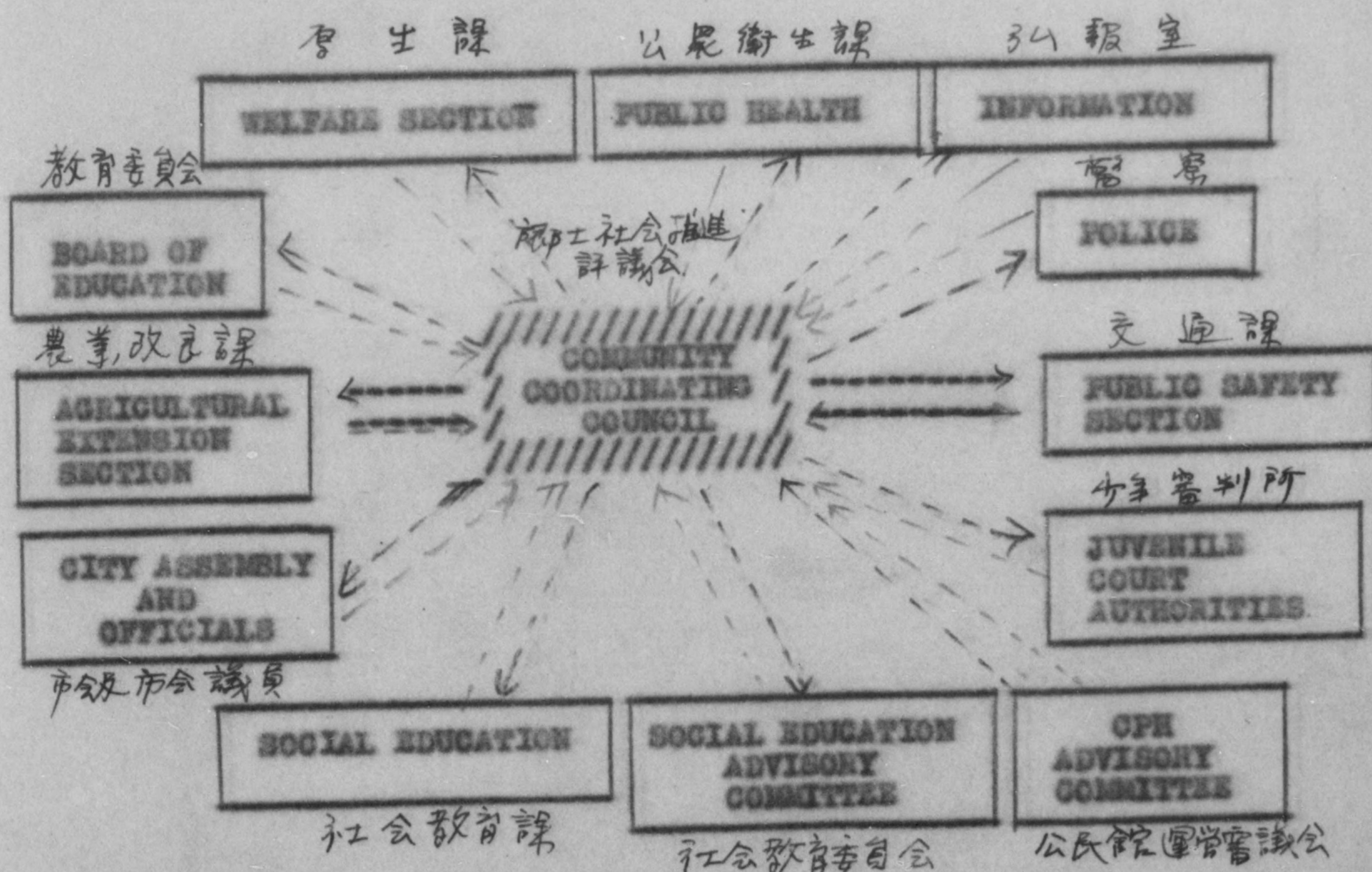


Chart II

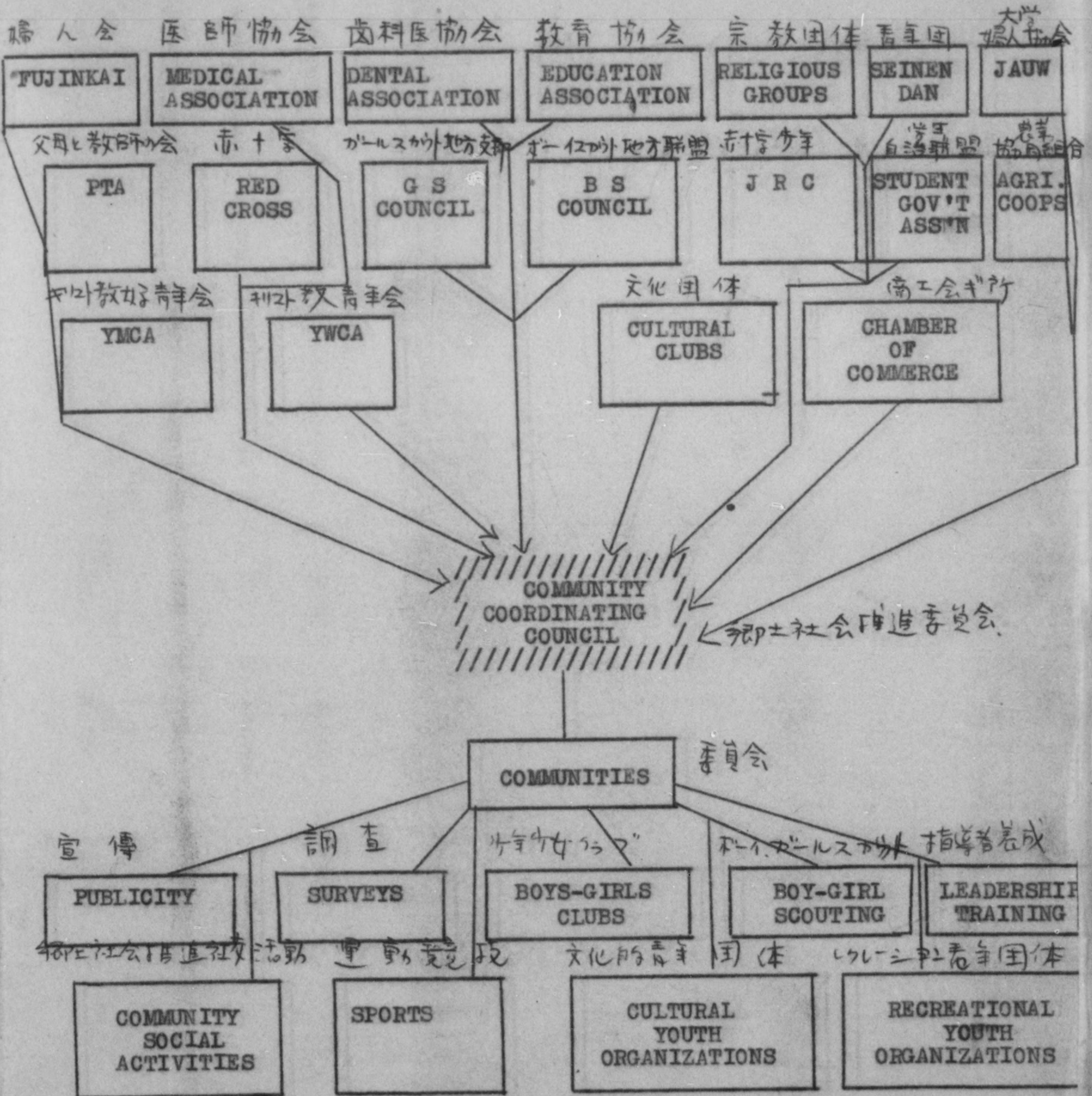


Chart I

一、保健行政を完璧にする運動が行はれ、不十分な資金を獲得して成
 功し、又充分に活用する計画の達成に協力しました。
 二、短期の行事や企画はポスターや誌、公告、或は会合等によつて普
 及さ小ましました。

一、日常食事の改善

二、共同募金や赤十字運動

三、学校社会に対する視覚教育を發展させる計画

四、圍撲滅運動

二の運動は大體の人は句論評議会のメンバー自作どうしでもち
 よつとこした、購買ひをこなけ小ばならなかつたので、稍困難を
 ともないました。

五、火災家庭事故、交通等の安全運動

六、非常に困難なこかも教育に價する家庭への援助や特殊の企

画

かくて茨城の他の地方を初め郡馬、埼玉、栃木等の代表者達が大
田町のこの活動を観察に来て成し遂げた事業やその活動
振りを見て帰りました。評議会もその成し遂げた仕事を誇りと
この活動振りを参観者に示すべく特別集会を参観のあるとき
にしておきます。全ての社会に於て着手さ小るべき良い計画と
して最も慎重な考慮を拂は小る様皆さんに心からお薦めする
次第です。

- 一 社会進展に寄與する長期的企画
 - 二 社会改善に資する短期の臨時運動及び活動
次に評議会が組織し促進した長期的活動があります。その内
 - 一 評議会參與の全団体に依り図書館の設立
 - 二 一年中行はれる全市を挙げての運動行事の発展
 - 三 遊技場として定められた道路の子供遊技場又子供の爲の効
外ハイキング遠足
 - 四 公民館の設立その企画を市会に経済的援助を以て貰ふ様設
得しその上に追加する資金獲得の運動の整理施行
 - 五 青少年団体の行事を援助する委員会の結成
- この努力の中から全ての年令を網羅した非常に素晴らしいリ
リエーションのプログラムへと発展して行き娛樂地帯が町の
三つの中心地域に建設されました。
- 皮革手藝や竹細工或は寫真等の専門家達がこの等の場所に技

藝趣味の会を以て指導をいたしました。

不

興味がうすいて解散にひんじてゐた二、三の音楽や演劇の会は復活して優秀な公演を度々上演するやうになりました。成人団体が器楽同好会と共同して社会ダンスの会を催した。二水がいくつかの立派なダンスバンドに迄発展的に進んで行きました。

そして大田町は私の見た中では一般の人々に社交ダンスが馴染ま小何等の軋轢や文対的気風も無く娯樂として輝かしい役割を担じてゐる二、三の町の一つになつたのです。

六一船討論会がある問題を皆に通曉させる企圖の下に計畫さ小行は小ました。私はその種の討論会の最初のを見ただけですが非常に巧く行は小ていました。主題は「青少年犯罪」でした。が指導者が小に備えて良く研究してゐたのでその問題を一船に深く理解させました。

をすべきだと思つておきました。青年団体は大々的に行事に
合同しては自分等の行不行事が過小視され引いては青年団体が
が重要視されなくなるかと恐れたのです。云ひ換へれば面子を
失ふかも知れぬと恐れたのです。
器楽同好会は所主催のお祭り、展覧会等に他の文化団体と共同
参加すれば自分等のする場合の行事の値打が落ち自分達主催
の公開演奏会の重要性を少くすると恐れました。
こう云つた感情的な反動は長期に亘る忍耐の末克服されたの
ですが、二三の文化団体はこのやうな子供らしい理由の下に脱
退してしまつた。しかし遂に斯のやうな問題は全て解決さ
れて評議会は意圖した所の仕事が出来るとなりました。
「最初の中は当然評議会がやるべき問題や計画と特定の民間
或は政府機関のそれとの差別に苦しみましたが数多くの失敗
のあがく遂に仕事を二つに分類してました。」

CORRECTION

THIS DOCUMENT
HAS BEEN REPHOTOGRAPHED
TO ASSURE LEGIBILITY

買に判らせざるの難い事でした。參與団体の全副の支持が
無ければ評議会が命令や指令を出すことも或は參與団体の名
に於て行動することが出来ないことを誰も理解出来なかつた
のです。

各程の団体が打つて一弾とする強い傾向があつたのです。
一般の単位団体とこの様な評議会との目的や演ずる役割につ
いての相違を検討するに多くの時間がかかりました。が、評議員
連は遂に評議会を連合会でも組合でもなく、唯一或は関連の
た目的や町全体に影響のある行事を行ふ。

団体がお互ひの希望する時力を合せるために作り出した方法で
あることを納得しました。

五股たみ面子自治と云ふ事は問題になりました。

青年団体は大々的クリエーション行事を実現する為他の機
関と協力することを好まず自分の団体だけのクリエーション

をすむべきだと思つておりました。青年団体は大々的に行事に
合同しては自分等の行不行事が過小視さ小引いては青年団体
が重視さ小ぢくなるかと恐小たのです。云ひ換へれば面子を
失ふかも知小ぬと恐小たのです。
器楽同好会は所主催のお祭り、展覧会等に他の文化団体と共同
参加すれば自分等のする場合の行事の値打が落ち自分達主催
の公開演奏会の重要性を少くすると恐小ました。
こう云つた感情的な反動は長期に亘る忍耐の末克服さ小たの
です。二三の文化団体はこのやうな子供らしい理由の下に脱
退してしまつた。しかし遂に斯のやうな問題は全て解決さ
れて評議会は意圖した所の仕事が出来るやうになりました。
「最初の中は当然評議会が主べき問題や計画と特定の民間
或は政府機関のそれとの差別に苦しみましたが数多くの失敗
のあぐく遂に仕事を二つに分類しました。」

市長が議長になるのは当然と思つたのです。

市長に尋ねた所評議会が彼にとつて政治的商業的に非常に良
い道具と思つたのでその理由の爲に認めたと云ふ返事を得ま
した。

評議員がその理由を知つた時評議会の仕事は完全にその枠内
で収めなければならぬことを理解するやうになりました。
かくて議長副議長書記会計が選ばれましたが之等の人は一
人も官吏や政治家ではありませんでしたその人は全部本式
にCCSへの代表として地方団体に依つて任命されておりました
医師会の代表者の齒医者さんが議長に商工会議所代表の金物
商が書記になりました。

後に小委員会が作られた時はその入りの席は官公職を持たぬ
市民に依つて占められました。

その後しばらくは町長や他の官吏達は事態を誤解しておりました。

と謂ふのは即ち評議会が官吏達を差別し官庁との連携を保たず彼等の午かり所の監理を奪つて了ふのではないかと云ふ恐れをいだいておたのです。

彼等が評議会の眞の目的を理解しその価値を知つて協力に乗り出したのはそれ以前八月も後でした。

それ以後町会や町長は「C.C.C.」は政治以外の面に於ては町のことについでの公衆の意見を反映した鏡であることを弁見しました。

所当局は單に当局の助力を要する仕事に協力するばかりでなく進んで公共関係の事柄につて評議会の意見を聚くために行動をとる前に評議会に持て来るやうにせよました。

各団体代表である各評議員は頻繁に二小らの事柄を自分の団体に持ち帰つては評議会に各自の団体の意向を傳へました。二小らの報告は町当局に何の様な行動が町民の賛意と援助を受けるかにつての良し示唆を與へます。同様に当局に町民の希望を知らせ二小ら一致した行動をとらせる機会を與へます。

四 何故会則や附則とかを持たず完全な連合会にしないかを評議

参加団体の資格

評議会に参加出来る団体は何の様々性格を持ち何の様々資格を持つておなけねばならないかを決定することは難しい問題となりまじた。

例へば刺繍の会が評議会の一員として代表者を出さないと希望します。亦貨幣蒐集クラブもそうです。外にこの様な多数の同好会があります。こゝ等の皆が郷土社会推進評議会に選ばれなければならぬと思つておます。議論の後所全体に關係ある行事や企画を持つ団体のみが選出されることになりまじた。

二 或る政治的団体やクラブでその目的や背景が本来政治的なものが評議会に参加し度いと望みました。尋ねた所こゝ等の人は評議会が彼等の思想主義を一般に普及させるに完全な機関として想像しておたのです。討議の結果次の結論に達しました。

即ち「C.C.C.」は純然たる奉仕団体と考へらるるもので人種宗教政治上の信念或は社会的地位に係らず社会の全ての人々に奉仕する団体であると謂ふのです。

従つて如何なる政治的性質や背景を持つておる団体も評議会には参加を許さ小ない。更に評議会はその小自体が如何なる政治的目的にも便は小ない様にする爲に全ての企畫は注意深く吟味する様に決めました。

三、市長や町一番の長者或は要職に在る官公更は例へ直接に関與しなくても団体の役員でなければならぬと云ふのは一應日本人の旧来からの觀念です。私はこの傾向をP. T. A. や他の日本の団体に於て気付きました。が「C.C.C.」に於ても之を認めました。皆が町長や町会議長を評議会の役員に選びたがったのです。その人々は誰もどの民間団体からの代表者でもなかつたのですが市長はその様な団体に熱意を示したので評議会の人々は

色々の遊技に使はれ得ることを見出します。

小等の通りは便利なことには町の三つの奥った地域に在り
学校の運動場と共に魅力的なすばらしい運動や其の他の遊技
を所の子供にたのしませることが出来ます。

そこで委員はこの計画と放課後や夕刻に小等道路を遮断出
来るかどうかの照会をもつて警察に参ります。

そこで道路を如何に利用し如何に監理するかについて当局に
委員会の意向を傳へます。

当局は遊技の始めと終りに往来止めを置き又取除くことの責
任を取り得ること、往来止めがみださ小ておないの調べて秋

序を保ち得ること、を条件としてその考に一致しましたが、
但しこの様な計画は市会に提出さ小なければならぬと解答し
ます。

さて委員は「C」に戻つて（※第五線ヲ指示）調査の結果得た事実

を説明し委員会の練った計画を提供します。
評議会はその計画を検討して証認し市会に提出することと決
めます。(※第六の線指示)

次いで委員会は本計画を市会に提出します。
市会が検討の後この案を通過して警察当局に対し子供達が遊
んでおる時間を交通を封鎖する為巡査の数を増す様指令を出
し評議会に警察当局の取る処置について申し送り本計画を案
施するやうに要望します。(※第七の線指示)

今度は初めて大田町に「E.C.S」を作る時に遇った数々の問題に
ついて指適して行きたいと思ひます。欧米諸國に於ては此の
様な努力に対して「豫め戒しめる」は豫め備ふるに等しいと云ふ一
つの誘があります。次の様な問題も皆さんが予め起ることに
可能性を念頭に入水問題が面倒になる前に取消して不手段
を取るならば僅かばかりで打ち克ち或は避けることが出来ると思ひます。

に興味を持っておるが尋ねますとP. T. A. 商工会議所、青年団、ボイス、スカウト、ガールスカウトの代表者が興味を示しました。

そこで議長は直ちにこれらの団体所属の人々で委員会を作る様に任命します（※第二線ヲ指示 委員会ノ名前ヲ示ス）

この委員会が本問題を徹底的に調査研究して評議會に解決の提案を出す様に指示されます

この委員会は会合して此の種の犯罪の理由をつき止めることに決し少年審判所の係官と厚生課に行き斯の様な事件についてどの様な情報があるかを調べます（※第三の線指示）

この厚生課で委員はこう云ふ少年達は本質的には悪い性算の子ではないが然し元氣と力に及ぶ小者おて何の方法でそれらを發揮してその精力を消費し度いのであると聞き知ります

両方の機は放課後や夕刻にこれらの子供達に満足させると

同時に有益に精力を消費させる様な機会を与へる。各種の
フリーエーシヨンの企画が必要であることを薦めます。 各種のり

委員会はこれ等の助言を考慮しそれが最も可能性のある解決
策であることに決定します。

て実行に移す可能性を研究します。調査の結果ボーイ、ガール
スクワットの指導者、青年団の指導者は学校の運動方面担当の
先生方と共に放課後や夕刻に喜んで子供達の運動遊技の監督
をして呉れることを委員会は知ります。

亦二つの学校運動場が子供達の使用に供せられ得ることが判
ります。

このかきそひの町のはづかに在つて多くの子供が来るにはあま
りにも遠過ぎること、しかして又町の中には運動上になるやうな
広い空地も無いことが判ります。

次に委員等は町の中のある通りが交通量も少く充分に広くて

併し参考としては十二だけで充分であります
此等機関と評議会との関係は評議会であり共に働き合つてゐる
ことに注目して下さい。

評議会もこの小の諸機関も同一条件の上に立つてゐます。
どちらが命令を出すのでなく亦一方に權威を振ふのでもあ
りません。

評議会の問題や提案を持つて此のいづかの機関へ行くことも
出来亦この小等の機関の問題や提案を持つて評議会の方へも来
る事が出来ます。

つぎてこの評議会が各方面の公私の団体の仕事をどのよう
にして関聯をつける役を果すかと云ふ例を調べる爲に第三の圖
を見まじやう。

図表三

この圖は第二の圖から抽出して便宜上少し書き通してあるこ

におお気付きにならでせう。
 こゝに警察当局のある問題に直面し、これを解決する為、社会
 の協力を求めておます。そこで警察はこの問題を持つて、
 上に参ります。(※第一線指示)
 放課後や夕刻にかけて小学生的の一部が町の大通りや小路をう
 ろつき廻ります。彼等は、乱暴で、地悪で窓ガラスを破つたり
 垣根を倒したり看板やポスターを塗りつぶしたりして、世々の
 騒動を起します。警察としてはその様な子供を捕え度くはな
 いし、亦このいたづら子供を取締るに充分なお廻りさんを配置
 することゝも恐くは出来ないので、
 そこで当局はこの問題を解決する為、評議会に参りました。
 評議会は、この問題を、しばらく討議して、から、これを徹底的に
 調査する委員会を設け、それから何らかの行動を計ることに
 決定しました。議長ほどの団体と何の団体が特にこの問題

進歩向上はやがて事業や産業上により多くの利益を与へ繁栄をもたらすからです。

② 其他色々な方法を各社会の様々の環境条件に合致するやう工夫することが出来るでせう。

③ この金はさまりきつた仕事に費され若しこの會費による資金が充分に余る場合はその社会全体に影響があり且評議員全員に認められたい企画に使はれ得るのです。

④ 特に評された場合を除き評議會の如何なる議員も自分の団体の爲に決議や公約をすることは出来ません。即ち評議員は議決権を持つておません。

⑤ 評議會は最小限年一回出来ればもつと度々各参加団体に対して會計報告書を提示します。そしてこれらの団体が會計簿を監査し承認できる様な仕組にします。

⑥ 評議會は会則を持ちませんが議事進行法を設定します。

役員の数指名の方法選挙方法或は其の他の手續の決定事項は單に評議会の議事録に控へるに止り其の後は公認のものとしてあつかひます。

九、評議会の議員は恐らく進展して行く委員の仕事の全部を遂行することとは不可能になるでせうそこで或る団体に委員を委嘱する時はその団体の誰か議員以外の会員がその団体の役員に依つて委員に任ぜられます。

一、此處で私はこの評議会が機能を發揮する方法を示すために、もう少し圖を参照し度と思ひます。

図表二

この圖は政府諸機関、公立団体、郷土社会推進委員会の間の關係を示しておきます。

圖上では唯十二の政府及び公立機関が示してあるだけですが、御存知の様にもつと沢山の機関があります。

てす。(必図表参照)此等の全ての団体は自発的に代表者を出した
のであり従つて何時でも評議会から自由に脱退も出来ますし
そうするときに誰からも許可を得る必要が無いのです。
二如何なる団体でも評議会の企画に参加を強要せらるること
はなく評議会は何らの権力も持つて居ないのです
評議会は單に各種の団体が一致した行動を取らうとするとき
に協力する爲に組織された手段に外ならないのです
評議会は亦各団体が行ふ企画や仕事を相互に知らせ合ふ情報
の媒介機関としての仕事もします。
三役員は全て無給であり余興接待などの資金は全くなく旅費
の支給もありません
斯う云つた費用の必要が評議会に不生じた時は各参加団体の
認可を得て後初めて獲得出来るのです。
四若干の費用として例へば郵便代文具代或は経常費が入りま

す。本来この額は非常に少いものです。こゝ等の費用の資金として参加各団体はその団体の大小に依り決定さるべき一定の会費を課さるべきです。

参加団体の各会員に一人年額一円を課して之を会費とします。従つて三四九人の頭数の青年団は年に三四九円を、八百人の婦人会は八百円、四十人のボイス・スクワットは四十円と云ふ様になります。

亦次の様な徴収法もあるでせう。

①全ての非営利団体は基本額百円と団員一人に十銭宛を加えます。

②商工会議所は加入してある各事業体宛に百円とし各事業体の従業員一人宛十銭を加えたものを会費とします。

この一見過重に見える商工会議所への会費は次の様な前提の上に立つておるからです。即ち社会の厚生福利に於ける

図表一

く、水は大田町の郷土社会推進評議会についての図であり

ます。

その評議会が次の様な目的を念頭において結成されました。

第一に公共問題に盡力する各種の計画に、関係性を持たせ、そ

水を緻密な実際の役に立つ効果的なものにする

第二に政府機関や民間団体が計画や仕事の上にて相互に

連携を保つて行ける中央連絡を作ることに

この水はその評議会などの様な方法で結成されたかについて

のごくありまじの様子を述べたものです。
(※図面指示各団体ヲ示ス)

一、この表はさして居る各々の機関団体

公会堂に於ける會合にその代表を送ることを求められ、水は

この會合に於て「C」こと如何なるものであるか、花介に説

明されました。そこで次回の會合の件につき同じ公會場で

三週間の後の同じ日の同時刻に再び集ることが決定さ小ました
出席した各団体の代表者は帰って各自の団体に「C.C.C.C.」ほど
んばものを説明しました。各団体はそれから「C.C.C.C.」に加入
するかどうかについて決定をし参加決定をした団体は第二回
の会合にその代表を送りました。この各団体の代表者の一団
が評議会の構成員となりそれから小から役員即ち議長副議長書記會
計を選挙しました。

勿論こゝに至る迄には議論を争はしその結果いろいろ結論
に到着したのであります。この加入會員が打克た収ばならな
かつたいくつかの障害についても述べますがそれから話の終り
の方で述べることにしましやう。
その前に私は最後に決定した評議會なる団体のより重要な
細部に遡つて説明致したいと思ひます
評議會は強制的なものではなく全く自由意志に依る団体

官及び民間社会教育機関の相互関係

序論

只今より二時間にわたつて官及び民間教育機関の相互関係の問題について考察して行き度いと思ひます。

ある政府機関と他の政府機関、ある民間団体と他の民間団体或は亦政府機関と民間団体との相互関係について検討して行くのであります。

こゝから各種機関を関連させる為、或る計画を進める必要が何故あるかと云ふ理由を述べらる必要は今更無いと思ひます。皆さんは時として種々の団体が同じ事を重複し合つて行つてゐる事即ち費用の重複或はある一つの目的に向つて努力してゐるが、全然相容れない方法を使つてゐる為、生じて来た混乱にお氣附のこととせう。

尚亦政府機関が全ての人々に働きかけようと努力する場合は

直面する多くの困難を皆さんは確かに御承知の事と思ひます
私は只今からこの様な各種団体の色々の運動をお互ひに因
り合せの計画を提します。この計画を説明した後全部の皆さんに
こんな計画に従つてやつて見る稽古をする機会を與えま
す。そしてこの計画を檢討し、若し有りましたら尚細かい事
について質問して下さい。後程私がどんな風に稽古するの說明致します。
この計画又は協力推進の方法が郷土社會推進協議會と謂は
れます。これは合衆國に於て非常に多くの社會で採用され且
成功を収めて来て居ります。
私は茨城縣の大田町に於てその様な評議會を結成し約十月の
間共に運営を指導し働いたことがありますがそれについてと
んな結果を得たか或は直面した色々の困難又はその成功した
事についてお話して見たいと思ひます。

16 1

指示

公私社會教育機關の相互關係

A

・會場にお入りになる時に渡されたカードを御覽になつて下さい。それぞれのカードは色で縁取りがしてあります。部屋を見廻される時壁に色の附いたカードがはつてあるのが見えます。あなたがお持ちになつておられるカードと同じ色の壁のカードの所へ行つて下さい。そこで各々の壁のカードには一〇人づゝが集ります。

B

・一〇人の中の誰か一人は星印(※)のついたカードを持っています。がその人は議長であります。この議長決定法は急ぎますから時間節約上用いました。

C

・それぞれのカードは團體の名が記入してあります。若し男性であつて婦人會や、ガール、スカウトを代表していたらそのグループ中の女性の方とカードを交換して下さい。婦人が居ない場合は勇氣を出して女性團體を代表する様、最善を盡して頂ぎませう。それはそんなに難しい事では無い筈です。日本の男性はとかく女性のすること、鼻先を突込んで干渉したがるのですから。亦反對に女性の誰かと男性の團體を代表している場合もどうそその

第 2

まゝ進んでやつて下さい。女性ほどんなに下手をしても男性程下手には出来ませんし、男性の団体なんて大したことをやつた事がないので

D. 各グループの議長は此の社の机の所へ出て来て頂きます。

皆さんが自分のグループに帰って聽かせる指示事項を書いた紙を差上げます。指示を自分のグループに讀んで聽かせたら直ちに各グループは仕事に入ります。

E. 各グループの會が始まる前に議長は書記を任命して下さい。各書記は會の記録に責任を取つて頂きます。約三〇分で會が終了しますがその後直ちに此に再び集り各書記は正味五分間自分のグループの會について報告をして頂きます。

F. 各評議會の書記が總會に報告する時次の三つの點に分けて報告して頂きます。

A. 評議會員の討論の要旨と問題解決の爲に寄せられた二の良の提案

B. 問題に特に關心を持つて自分の団体のメンバーを出して問題の對策調査委員會を作る時に關心を持つた評議會參加の団体名

○ 問題を解決して行く上に於て評議會が援助や協力を仰ぐ爲に問題
對策委員が接觸して行く民間特定團體や政府機關
D どのよう巧く指示にそえるか一度やつて見ませう。

№ 1

問題

公的及び私的社會教育團體の相互關係

一、青少年のダンスについて一町に一つのダンス・ホールがありますが、その風紀上の管理が巧く行われていません。評判の悪い多くの大人が常々出入りをし又人々の多くが酒によつておどつていたりします。多くの青年男女はダンスを好んでしますが、此の處が町ではダンスを集つてする唯一の場所であるので、彼等は悪い行儀、粗暴、泥めい或は好ましからぬ誘惑にさらされていきます。この様な状態が昂じて度々不幸な事件が起きました。

或る親はそのホールを閉鎖するよう警察に頼みました。

當局では、ホールは合法的に開業して居り、閉鎖を命ずるわけには行かないが併し當局としては關心を寄せていると云う返事です。従來、當局は數人の青年達を泥めいや公衆の中に於ける不當な行動の故に逮捕しなければならなかつたこともありましたが。

そこで當局はこの問題を郷土社會推進評議會に持つて参りました。

皆さんはこの郷土社會推進評議員です。

本問題の解決の爲に提案しやうと思ふ手段を指示せられた三項目に分

けて總會に報告して下さい。
 二 困窮家庭について一人の婦人が近所の人に関する次の問題を持つて

評議會に参りました。
 大原夫人は三人の小さな子供を持つて居ります。長男は小學校の四年生ですが、しばしば弟達の面倒を見る爲に學校を休んで家に居らなければなりません。二人目は五才で幼稚園に通ひ出しましたが、非常に生徒が多い關係上、先生は適當な個人的注意をその子に與へることはなかなかなか出来ません。その中にはその子は度重なる操行上の問題を起して幼稚園を出されて了ひました。
 赤ちゃんも適當なお守りがないので体は弱く充分な栄養もとつておません。母親は父親が死んで了つて居ないので職を探す爲にあちらこちらと歩き廻らねばなりません。一家の生活は全く母親の日々の僅かな賃金にかゝつて居り支へられてゐるのです。
 子供の面倒を見る人をやとう餘裕も無く、かと云つて職場に子供をつれて行くことも出来ません。
 皆さんは「〇。〇。〇。〇」です。
 問題はこの一家の結合を保ち、長男を休ませず學校に送りその他の現存する悪條件を克服する方法を確立するにあります。本問題解結の爲

No. 6

に寄せられた提案を指示せられた三項目に分けて總會に出します。
 三、浮浪児について一人の婦人が公民館の後の古い木箱の中で寝てゐる
 既らぼろの服をきた薄汚れたひもちそりな、しかし強情な子供を見附
 けました。その子はごみ屑箱の中から何かをあさつては喰べ、或る時は
 市場で一寸した食物を盗んで生きてゐました。聞けば両親、親戚もゐ
 ないと言ふのです。

皆さんは「○○○○」であります。
 皆さんが所へその婦人が、婦人はその子を一時家につれ歸つてゐるの
 ですが、この子に家や衣服、食物、学校教育や愛情を與へるにはどう
 したらよいか相談に参りました。

問題解決の爲に提案しやうとする手段を指示された三項目に分けて總
 會に報告します。

四、社會教育課は次の問題を評議會に提示します。

我々は青年團、ボーイ、スカウト。ガール、スカウト。YMCA。Y
 WCAの如き結成團體に民主的方法を理解せしめ、行事に興味を増し
 効果的に行事を發展させる上に援助を與へて、大いに成果をあげて來
 てゐます。

然し乍ら、如何なる團體にも屬してゐない青年達に到達するのは困難

且殆んど不可能であることを感じておられます。結成された団体に屬してゐる青年よりも、してゐない方が多いのですが、我々はその人々に到達し助力を與へる必要があります。我々はその青年達を上品な興味に又社會奉仕の感念や餘暇を健全且生産的方面に費す趣味を啓發し導く必要を感じておられます。我々は文化、趣味、手工等の縣單位の展覽競技會を開催し度いと思つておられますがそれには全ての人が參加する様希望します。我々が立てた計畫に依ると、各團體毎に皮革手藝、木刻り、寫眞、繪畫等に分類して趣味の會を開いて頂きます。この様にして他の面に於ても同様の運動への興味を創造して行きます。作品は一般に展覽して各種類別の優秀者を決定して一先づ幕を閉じます。次いで各團體の優秀者は郡單位の展覽會に於てお互の出品を競ひ、その優秀者は縣單位の展覽會で榮冠を競ひ合ふのです。我々はこの計畫の後援に多大の費用を出し得ないのは残念ですが、併しどの程度後援出来るかは、かゝつて參加する團體の數と熱意にありまします。要點は結成された團體のメンバーだけではなく、廣く全ての人々にこの主旨がゆきわたり、參加して貰ふことを希望してゐることです。

この計畫に皆さんの協力をお願い出来ますか。
 皆さんは「〇。〇。〇」です。この大がかりな行事を發展させる爲に寄せられた提案を指示された三項目に分けて總會に報告して下さい。

A. 本問題を解結する爲に寄せられたこの良い案と討論の要點

B. 委員を通じて本問題に關係する団体

C. 委員が協力を得るべく接觸する當局及び公共団体

五 公衆衛生課は次の問題を皆さんに提します。

我々社會の清潔と衛生の標準は危険なまでに低いのです。

社會全体は「ノミ」や「シラミ」や害虫が病氣を持つて運ぶ爲に數多くの傳染病のいづれにも罹る差迫つた危機にあるのです。

我々はネヅミの横行する古い屑溜めや塵芥の山等を全てきれいにしなければなりません。

これはなりません。これらの多くは井戸や其他の水源を不潔にします。

衣服や家具、食器或は自身を帯や小川等の水で洗わぬように指導を要します。

水溜りや流れのごくゆるい水のたまつている所を枯渴させて排除しな

れはなりません。

單にこう云う事をするのみでなく又こう云つた場所が常に清潔にされて

ある様にする何らかの方法即ち屑や其他の塵物が速かに取去られ且適當

ある様にする何らかの方法即ち屑や其他の塵物が速かに取去られ且適當

ある様にする何らかの方法即ち屑や其他の塵物が速かに取去られ且適當

に處置せられるように市會に要求しなければならぬのです。亦雑草や藪等を空地や道傍や土手等から取除き、この様な氣の附かぬ廢物の溜り場に残さないようにきれいにいたすことが必要ですと同時にこう云う場所を常々清潔な情態に置く方法を見附けなければならぬのです。以上の事はこの社會を健全にし又子供等が健康に清潔に成育して行くために是非とも必要です。公衆衛生課は必要を實行事項を計畫し又消毒劑や他の衛生材料を供給し出來ます。しかしながら社會大衆からの多大なる協力なくしては完遂出來ません。からた廢物等を荷車で捨て去りに行く有志の人、消毒をするために訓練せられた有志の人、又雑草、藪を除去したり、からくたを車につみ込む様一所に集める人等が必要です。或は一般大衆に本運動の主旨を説明し、この運動への氣運を高めて保健の必要性や社會の健康を向上させるに各人の演ずる役割を指導教育する人々を必要とします。本問題を成功させる爲に皆さんが出来ることを實行して頂ければ感謝します。

皆さんが「〇。〇。〇」です。本問題を解決するため提案しようと思
う案を指示された三項目に分けて總會に報告して下さい。

六、生活改善について
評議會に出ている各団体の代表者である議員は各自の屬する団体の活動に
ついて報告します。

こうすることによつて他の団体の活動の中から自分の団体にも興味をも
たらす活動を知り得お互に切磋琢磨して行きます。

婦人會代表の大谷夫人は新生活改善について非常に細微に凡る計畫を報
告します。それは次のような計畫であります。即ち、

イ、結婚式の簡素化

ロ、葬儀の簡素化

ハ、家計費豫算の計畫化

ニ、産兒制限

ホ、家庭の改善

一、婦人達は斯う云う問題は重要な意義を持ち社會全体の福利に大なる意
義を持つていゝと感ぜつゝも口で議論をする程には實行をしない。「
大谷夫人は申します。そして又一興味と熱意をまき起して社會一般が
その計畫を双手を擧げて賛同するであらう。」

その計畫も實踐が困難なので何等の處置も取られていない。この計畫の實現に興味を持つて協力を共にする國体があれば婦人會として非常に心強い」と申します。

皆さん方は「○○○○」であります。本問題の實踐の爲に寄せられた提案を指示せられた三項目に分けて總會に報告して下さい。

Constitution of the Nakatado-gun Social Education
Promoting Association

F
650

- Art 1. The name of this association shall be the Nakatado-gun Social Education Promoting Association. The office shall be located in the office of the Nakatado-gun Town and Village Association.
- Art 2. Based on the Social Education Law, this association shall maintain a close liaison with Kagawa Prefectural Board of Education Secretariat and the concerned people in the gun to accomplish the mission of social education.
- Art 3. In order to accomplish the abovementioned purposes, this association shall carry out the following business.
1. Study and research of social education to be renovated and improved.
 2. To hold lecture meetings, study meetings, and exhibition.
 3. Other necessary business.
- Art 4. This association shall consist of the members who agreed with the purpose of this association and who were recommended by the mayors.
- Art 5. The officers of this association shall be as follows. The term of office shall be one year.
1. One president who was elected at the general meeting shall represent the association and superintend the business.
 2. One vice-president who was elected at the general meeting shall help the president and act as the president in his absence.
 3. One treasurer who was appointed by the president shall be in charge of accounts.
 4. One secretary who was appointed by the president shall be in charge of clerical work.
- Art 6. Two auditing committee members shall examine the accounts.
- Art 7. In order to accomplish the purpose of this association, the following departments shall be established. The members shall belong to any department. The president shall appoint the head of each department.
1. Civil Education
 2. CPH Library
 3. Audio Visual Education
 4. Women's Department
 5. Youth and Minors'
 6. PTA
 7. Physical Education and Recreation

- Art 8. The general meeting shall be called by the president more than once a year and shall carry out the following business.
1. Election of president, vice-president, and auditing committee
 2. Approval of budget and settlement of account
 3. Amendment of the constitution
 4. Other important matters

Decisions shall be made by majority vote.

- Art 9. The Board of Leaders shall consist of one committee member of each town and village appointed by the officers, department heads and the president. The leaders' staff meeting shall be called by the president whenever necessary to discuss the following matters.

1. Program
2. Budget and settlement of accounts.
3. Other necessary matters.

- Art 10. The expenditure of this association shall be paid by assessment, profits and donations.

- Art 11. The fiscal year of this association shall begin on April 1 and ends on March 31, of the following year.

- Art 12. This constitution shall be effective July 26, 1950.

第四條 本会の会員は本会の趣旨に賛同し、町村長の推薦した者で組織する。

第五條 本会の役員は次の通りである。任期は一年である。

1. 総会で選挙せられた会長一名は会を代表し会務を主宰する。任期は一年である。

2. 総会で選挙せられた副会長一名は会長を助け事故ある時は代る。任期は一年である。

3. 会長の委嘱した会計一名は会計事務を司る。任期は一年である。

4. 会長の委嘱した書記一名は臨時会務を掌理する。任期は一年である。

5. 会長の委嘱した監査委員一名は監査事務を掌理する。任期は一年である。

6. 会長の委嘱した庶務委員一名は庶務事務を掌理する。任期は一年である。

7. 会長の委嘱した広報委員一名は広報事務を掌理する。任期は一年である。

8. 会長の委嘱した文書委員一名は文書事務を掌理する。任期は一年である。

9. 会長の委嘱した庶務委員一名は庶務事務を掌理する。任期は一年である。

10. 会長の委嘱した庶務委員一名は庶務事務を掌理する。任期は一年である。

11. 会長の委嘱した庶務委員一名は庶務事務を掌理する。任期は一年である。

12. 会長の委嘱した庶務委員一名は庶務事務を掌理する。任期は一年である。

第六條

本会の目的を達成するため、左の専向部を設ける。会員はこれらの部門に所属するものとし、会長は各部に部長を委嘱する。

- 1. 公民教育部
- 2. 公民館図書館部
- 3. 視聴覚教育部
- 4. 婦人部
- 5. 青少年部
- 6. PTA部
- 7. 体育レクリエーション部

第七條

総会は年一回以上会長が召集し次の事項を行う。

1. 会長、副会長、監査委員の選挙。

2. 予算、決算の承認。

3. 会則の変更。

4. 其の他重要な事項。

第八條

議決は出席者の過半数による。

役員、部長及び会長の委嘱した各町村一名あての委員をもって幹部会を構成し必要の都度会長が召集し次の事項を附議する。

- 1. 事業計画。
- 2. 予算決算に因する事項。
- 3. 其の他必要な事項。

第九條

本会の経費は員費、事業収入、及び寄附金を以つて之に充てる。

第十條

監査委員一名は会計の監査を行う。

第十一條

本会の会計年度は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

第十二條

本会則は昭和二十五年七月二十六日より施行する。

以上

650

Collected by Kotaki CE.S in 1949

Elements of the Fellowship by the National Improvement Cooperation Society

香美郡生活改善協力會綱領

趣旨

現下の暗い世相から脱け出して明朗な長生日々辛の再建が一日も早く訪れる日を誰しも念願されることではせう。

それは先づ道義心を昂揚し生活に關する知識技能を習得しマニエに山積する悪習慣を打破し荒み切つた人心を和らする事か先決問題ではなうか。

松共ほこに生活改善協力會を起して次に掲げる綱領によりその実をあげよう。

皆様の絶大な御支援と御協力を仰ぐ次第であります。

綱領

一世代の相續

我々の生活は現代を背負ふと同時に未来を予ぶ各個の生活定伴を基礎とし、健全明朗な社會の建設を圖りえを次代に相續することとは我々の責任である。

長生社會の建設

未曾有の轉換期に逢着してはいるか徒らに新奇を逞んで馳らす故にならざる中道堅固な長生社會の建設に担ふべきなり。

經濟自立

目前のしこむ利害に制せられず經濟秩序再建のために前途の光明を望んで忍苦の行を続けよう。

実行要目

一 衣生活

衣生活は、衣を着て、食を食して、真の自己にめがめ、くとも日辛、經濟自立の日辛で耐えよ。

ことは我々の責任である。

二 長官社會の建設
未曾有の轉換期に逢着しつゝはるかに新奇を造りて馳りず故に
にたがひのち中道堅固な民主社會の建設に担ひしつゝ

三 經濟自立
目前の小さな利害に制せられず經濟秩序再建のためは前途の光明を望
んで忍苦の行をいつけしつゝ

実行要目

一 衣生活

一 虚栄心を去りて眞の自己にめがめつゝとも日平經濟自立の日で耐えを
續けること。

二 簡易な品位及び服装と工夫すること。

ニ 食生活

栄養的合理的な調理法の研究

三 住居

一 衛生的に整理整頓する。

二 能率的な活動の出来る様工夫改善する。

三 文化的に明々の裝飾を取入れる。

四 教育

一 子女の教育を生活の第一位とする。

二 教育は胎教より母の語を治し独善自言の出来るように育てる。

三 子供は明るく強し正しく育てる。

五 文化

一 民族の品位に重きを置き禮儀正し言語行動をとる。

二 健全な娯樂の研究と共に健全流物を選擇する。

三 交際は簡素を旨としつゝハカ一まつた態度を重んじる。

六 經濟

一 予算生活を勵行し記帳生活にとめる。

二 浪費を断つて貯蓄に協力

ハ國際的經濟の狀況を把握する。
ニ定刻勵行と時尚の尊重

實行 第一期

- 一 冠婚葬祭の簡素化
- 二 家族の協力により立派な時尚を産み出す工夫をすること。
- 三 手持の品を節約して、使ひ必要に迫られた物品以外は買はないこと。
- 四 偏食をさけること。
- 五 子女の教育はよく研究して家族全員が一致してゑを行ふこと。
- 六 講演講習會は家族がなるべく多く出席すること。
- 七 會合には開會閉會の時刻を厳め定めること。

佐賀縣結婚規則

Regulation of Marriage in Saga Prefecture

第一條 媒酌人について

- 1. 媒酌人は當人同志の知己友人等に依頼する。
- 2. 媒酌人は當人相手の健康診断書ととりかわされる。
- 3. 媒酌人は結婚規則を厳守する。

第二條 結婚について

- 1. 一生固め一口固め日取固めは當人署名の白扁を取りかわし一円一圓は納金として酒肴含め最高五千円迄とする。
- 2. 結婚は金納として酒肴含め最高五千円迄とする。
- 3. 嫁方の返礼は廃止する。

第三條 結婚式について

- 1. 結婚式は厳肅にとり行ふ。
- 2. 結婚式は出合祝儀として参列者は両親兄弟(姉妹)の範囲にとめる。
- 3. 式服は簡素にし新調はさける。
- 4. 結婚髪はなるべく従来の日幸髪を廃止する。

第四條 披露について

- 1. 披露内容は三親等内の親戚とし知己友人は特別の者に限る。
- 2. 料理は幸膳を廃し簡素にする。

第二條 結納に於ては、
 一、一生固め（口固め）日取固めは、當人署名の白扁を取りかぬ一弁一鯛
 は、
 二、結納金は、納めとして酒肴を含め最高五千円迄とする。
 三、嫁方の返礼は、廃止する。

第三條 結婚式に於ては、
 一、結婚式は、厳粛に於て行ふ。
 二、結婚式は、生合祝儀とし、参列者は、両親兄弟（姉妹）の範囲にとり、
 三、式服は、簡素にし、新調は、さける。
 四、結髪は、なすべし、従来、日傘髪を、廃止する。

第四條 披露に於ては、
 一、披露内容は、三親等内の親戚とし、知己、友人は、特別の者に限る。
 二、料理は、幸膳を、廃し、簡素にする。
 三、宴會は、三時間以内とする。

第五條 披露は、茶講程度か、挨拶廻りにとり、
 第六條 調度品は、最少限度にとり、式後、相方合意の上、必要品のみ届ける。
 第七條 三日月、初歩き、について
 一、三日月は、新夫婦のみ、に止めること。
 二、三日月、初歩き、の土産は、全廃する。

結婚の簡素化村内申し合せ
 川岡村女性協力会

一、見合の件

一、見合前に健康診断書と交換する。
 二、本人同志の高格を、理解する事が、未だる様に、家族の世話役の者が、考慮する。
 三、本人の意志を、尊重する。
 四、挨拶、入水は、やめる（人、才、貴、買、の、遺、物）

二、結納の件

一、結納は、新舊、廣一對に、対、手とし、結納金は、全廃する。
 二、記念品を、贈る、も、よし、

三、支度の件

一、筆筒類は、一様以上は、持た、な、し、様にするの、が、望、ま、し、い、
 二、鏡台へ、い、な、鏡台、が、よ、し、
 三、針、箱、
 四、衣服、布、圍、類、は、実、用、向、き、の、み、と、し、當、分、の、間、に、合、う、物、丈、に、止、め、特、別、に、新、調、し、な、し、

四、結婚式の件

一、様式は家風により随意とす(簡單な中にも嚴肅を旨とし、明朝を以て「天」)

二、服装は男女共に自由で習慣にとりわかれず、手持の物で尚にあはせ慶儀

三、禮章を用いて氣分をありわす

四、披露宴の件

一、近親者のみにとびめる

二、吸物膳を限度とする

三、酒は三升迄

四、午後十一時迄

五、隣近所は茶菓の程度で招待す

六、土産の件

七、親族だけ粗品一個宛贈る

八、結婚後の祝の件

九、帯祝は全廃する

十、又出産後子女についての祝事は近親のみとせ、初着、言詣り、七五三着、貝子乳

母事、離人形、鯉のぼり、八朔等の祝を親里から贈ること全廃する

結婚相談所を開設する(高分役場に置く)婦人会員が在話する

此の申合せ徹底のたりに既以上の品物を所持する者も使用を遠慮すること

結婚相談所

結婚関係

結婚簡素化運動申合せ事項

山田村婦人会

一、結婚前の話合

二、健康診断書をとりにあす

三、見合はなるべく戸外又は仲介人のうちにて行う

四、結納は厨火事と未廣とする

五、調度品は左記の品以内としすべて手持品を用いることとする

六、たんす一本、鏡台、下駄箱、針箱、洗面器、机、本箱、衣具一人前、さしと八五

七、枚、男子は不要のもの除く

八、調度品は左記の品以内としすべて手持品を用いることとする

九、たんす一本、鏡台、下駄箱、針箱、洗面器、机、本箱、衣具一人前、さしと八五

十、枚、男子は不要のもの除く

一、調度品は左記の品以内としすべて手持品を用いることとする

二、たんす一本、鏡台、下駄箱、針箱、洗面器、机、本箱、衣具一人前、さしと八五

三、枚、男子は不要のもの除く

と希望するし、
結婚簡素化運動申合事項
山田村婦人会

結婚簡素化運動申合事項

山田村婦人会

- 一、結婚前の話し合い
- 二、健康診断書をとりにかかす。
- 三、見合はなるべく戸外又は仲介人のうちにて行なう
- 四、結納は厨事と未廣とする。

二、支度

- 一、調度品は左記の品以内としすべて手持品を用いることとする。
- 二、たんす一本、鏡台、下駄箱、針箱、洗面器、机、本箱、夜具一人前、さしとん五枚、男子は不要のもの除く
- 三、式服 男子はなるべく背廣程度とする。女子は和服の時は留袖程度とし洋服の時は外出着程度とする。女子の頭髪にカブリをつけることは止める。
- 四、土産物はすべての場合に廃する。
- 五、下女、人足を廃する。

四、結婚式

- 一、結婚の意義を解して儀式を厳肅にする事。
- 二、日中は行い、式場はなるべく神前又は佛前に於て行なう。
- 三、贈物は簡素に折つめ程度としお客は十人以上以内とする。
- 四、其の他
- 五、おむこ入りとか嫁入りとか云ふ儀礼的なものを廃する。

- 一、近所の挨拶はお茶菓子位とする。
- 二、出立 出立 出立 出立 出立

- 一、参祝 およろぎを廃する。
- 二、出産祝 里親から産衣として筒袖一枚程度とし内祝とする。
- 三、節句 お節句の儀礼的なものを廃し内祝とする。
- 四、鯉のぼり、うは車、おのこ長袖初衣、赤子ぶとん等里親より送り出すことと止める。

結婚簡素化目標

佳作 仕立の見栄より氣立の嫁

- 一、等 衣裳百より健康一つ
- 二、等 結婚におおれは細る親と家
- 三、等 愛嬌の心仕度でお嫁入り
- 四、等 嫁ぐ花嫁心に衣裳
- 五、等 あるもので飾る嫁ぐ美しさ
- 六、等 才は淡く契りは深く虚礼なく

- 一、等 結婚は支度半軽に厳かに
- 二、等 結婚は人物幸位支度披露は未
- 三、等 簡易な結婚我が家の誇り
- 四、等 因習を捨て、明るく新家庭
- 五、等 衣裳百より真実一つ

結婚

改善についで
廣島縣下で行はれてゐる一例

法議

我々の祖国日本は敗戦以來各分野に於て根本的大改革が行われ居るも独り結婚問題に關しては自由思想を遂用し却つて徳川時代の封建的因襲を追うに悉くし華美煩雜に流れインフレを助長し結婚難を嘆じ居る実情に鑑み之を地方の識者諸賢に諮り幸日別項の如き案を草し以て平和日本再建の重責を担う青年男女の自主独立を尊重し前途に光明と祝福とを送らん事を期す。

- 一 結婚金を廃し未廣と結婚申込書(同承諾書)並に健康診断書を取交わす。
- 二 式は質素嚴肅にして誓約書を朗読す
- 三 結婚衣裳は式服を用いお晴着の程度とす
- 四 披露宴會を廃し茶菓の會に止む
- 五 調度を飾らぬ
- 六 土産物を廃す。

右決議す。

昭和二十二年三月七日

豊田郡本郷支那連合婦人會有志

男女青年團有志

右のような決議に基づいておの結婚金の代りに未廣と健康診断書をそえて結婚申込書が仲人さんの手にお嫁さんのうちへ届けられるその結婚申込書の文は

結婚申込書

私事新憲法に照り男女同権を以て貴嬢と人世行路をともに致し大に決意ありおす就いては規約に依り健康診断書を添えて御送り結婚を申込みますから何卒御承諾下さい

何々様

何某